#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 5 年 6 月 1 3 日現在

機関番号: 32612 研究種目: 特別推進研究 研究期間: 2017~2021

課題番号: 17H06086

研究課題名(和文)長寿社会における世代間移転と経済格差: パネルデータによる政策評価分析

研究課題名(英文) Economic disparity and intergenerational transfer in the longevity society: Policy evaluation analysis using panel data

#### 研究代表者

樋口 美雄 (Higuchi, Yoshio)

慶應義塾大学・商学部(三田)・名誉教授

研究者番号:20119001

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 568,920,000円

研究成果の概要(和文):長寿社会と経済格差の関係に焦点を当て、「日本家計パネル調査(JHPS)」を継続した。JHPS回答者の子を対象とした「JHPS第二世代付帯調査(JHPS-G2)」も開始し、所得や資産、教育、健康における格差の世代間移転について、日本で新たな知見を得ることができた。さらに、コロナ流行を踏まえ「JHPSコロナ特別調査(JHPS-COVID19)」を緊急実施し、長寿社会、新しいテクノロジーの普及という社会的潮流のなか、コロナ危機での格差の動向について、いち早く検証することができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義格差の拡大や固定化、社会の分断は、多くの先進国が直面しており、日本も例外ではない。本研究では一時点の格差の拡大や固定化、社会の分断は、多くの先進国が直面しており、日本も例外ではない。本研究では一時点の格差の実態のみならず、親から子に引き継がれる格差の世代間移転について、独自のデータにより日本の状況を明らかにした。また、コロナ流行という全世界的ショックが、格差拡大にどういった影響を与えたのか、非接触の経済活動の普及といった新しいテクノロジーの台頭を背景に、実証分析のためのデータの整備と、コロナ初期段階やアフターコロナ下での影響について分析した。

研究成果の概要(英文): Focusing on the relationship between longevity and economic inequality, we conducted "Japan Household Panel Survey (JHPS)." We also launched the "JHPS Second Generation Supplement (JHPS-G2)," a survey targeting children of JHPS respondents, which provided new insights into the intergenerational transfer of inequality in income, assets, education and health in Japan. Furthermore, in light of the COVID-19 pandemic, we conducted "JHPS special survey for COVID-19 (JHPS-COVID19)," enabling an early examination of trends in inequality during the COVID-19 crisis under the social trends such as longevity and the diffusion of new technologies.

研究分野: 労働経済学

キーワード: 計量経済学 経済統計学 労働経済学 財政学 社会保障論 教育経済学 社会政策 人口学

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

#### 1.研究開始当初の背景

- (1)研究代表者らの本研究開始当初までの研究成果から、貧困や所得格差、世代間格差といった格差問題の多くが長寿社会という環境との関連で研究することが重要であることが示唆された。わが国は世界でも類を見ない長寿社会を経験しており、個人・世帯レベルでは、健康リスクの高まり、介護、高年齢就業、世帯内の所得移転や相続、持ち家の住替え、次世代の教育投資などの課題・問題、また、企業レベルでは、人手不足や生産性の低下、AI などの技術革新、定年延長、非正規雇用、人的資源管理といった課題・問題に直面している。さらに、国レベルでは、こうした課題に対応するために、税・社会保障を通じた再分配政策や労働・住宅・教育などにかかわる施策のあり方が問われている。これらの課題の多くは経済格差に起因し、また、経済格差に影響を与える。経済格差を切り口に、これらの課題・問題を対象に、その背景やメカニズム、この循環を断ち切るための有効な政策を研究することは、少子高齢化を迎える多くの国にとって役立つものであり、超長寿社会日本の研究者に課せられた使命と考え、本研究を開始した。
- (2)研究代表者らは、これまでの研究プロジェクトで「日本家計パネル調査」などの家計パネルデータの構築を進め、これを用いて他分野にわたる経済格差研究を進めてきた。今後、長寿社会の中で、親・子・孫の三世代間でどのような資源配分の決定がなされるかによって、経済格差の動向が変わりうるため、三世代の関係性を考慮した研究の必要性が増していた。そこで、本研究では、経済格差の動学研究という従来の研究課題を、長寿社会との関係に焦点を当てる形で発展・進化させることとした。

# 2.研究の目的

- (1) 長寿社会と経済格差の関係に焦点を当て、長寿少子社会に起因する経済格差の発生メカニズム、さらには、経済格差が長寿少子社会での人々の暮らしや働き方、健康、社会経済の諸制度、消費・生産行動、資産形成、出産などの家族形成、保育・教育などの次世代育成などに与える影響について、家計を追跡するパネルデータの構築・解析を通じて多角的に研究することを目的とした。
- (2)長寿社会と経済格差の関係を多角的に解明するため、研究代表者らが従来から構築してきた「日本家計パネル調査」などの家計パネルデータの設計・解析を継続するとともに、長寿社会における経済格差研究に適した調査内容になるよう、新たに、調査対象者の同居家族全員の情報の収集、調査対象者の非同居家族への新規調査、基本項目・モジュール項目からなる調査項目の策定を試みることとした。
- (3)経済格差は様々な経済事象として生じており、それぞれが相互に密接に依存している。 1つの分野に特化することなく、応用ミクロ経済学の様々な分野からの多角的・総合的に経済格 差のダイナミズムを解明し、公平性と効率性の視点から政策含意を導出する。

# 3.研究の方法

(1)研究組織として、データ構築・連携班と5つの研究班を設置し、班ベースでの活動を基本とする。年 $2\sim3$ 回程度の班リーダー会議、毎年10-12月にかけて $1\sim2$ 回程度、全体による調査票策定会議を開催し、「日本家計パネル調査」などの調査票や調査方法の検討・確定作業を行う。

データ構築・連携班は、「日本家計パネル調査」をはじめとするパネル調査を継続し、データの質や利便性の向上を目的に、サンプルバイアスを補正するウエイトの開発、データ貸し出しにかかる準備を行う。また、「日本家計パネル調査」を活用した国際共同研究の促進を目的に、ルクセンブルク所得研究の所得のミクロデータベースや、オハイオ州立大学らによる国際比較可能なパネルデータベース(CNEF)に、JHPSを提供すべくデータ整備や調整を行う。

## (2)「JHPS 第二世代付帯調査」の実施

格差の世代間連鎖の研究に向けて、多世代にわたる情報収集を効率的に行うため、WGを立ち上げて調査の設計や調査票の内容について協議し、2018年度に「日本家計パネル調査」の回答者の子を対象とした「JHPS 第二世代付帯調査」を実施するとともに、「日本家計パネル調査」に高年齢者に比重をおいた新規サンプルの追加を行った。これら一連の調査の実施により、三世代における金銭的・非金銭的つながりや格差の世代間移転について、情報を収集する仕組みを設けた。

#### (3)「JHPS コロナ特別調査」の実施

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けて、研究代表者らは、長寿社会や新たなテクノロジーといったメガトレンドを背景に、長期化が予想されるコロナ危機によるショックが社会の格差構造に大きな影響を及ぼすと考えた。経済格差を研究するうえで、コロナ危機の影響を把握することは不可欠であるため、2020 年 4 月に緊急で、「JHPS コロナ特別調査」ワーキンググループを立ち上げ、2020 年 2 月に実施した「日本家計パネル調査」の回答者を対象に、5 月に第1回目の調査を、その後、約 4 か月おきに現在まで計 4 回の特別調査を実施し、コロナ禍における就業や所得、健康、幸福感などの変化をリアルタイムで追跡調査している。調査実施に当たっては、感染予防対策を徹底させ、従来の訪問留置き調査を改めて、郵送・インターネット調査を導入し、初回の緊急事態宣言下においても調査を成功させることができた。

#### 4. 研究成果

(1) 長寿社会に起因する経済格差 研究リソースの拡充

長寿社会における経済格差を分析するにあたり、本研究では、教育や相続などを通した格差の世代間移転や、AI など新技術の導入や、IT スキル、非認知能力などによる格差への影響に着目した。そのため、本研究の主たる研究リソースである「日本家計パネル調査」におもに以下の3点の改良を加えた。

- 格差の世代間移転を分析するため、「家族票」の導入と「JHPS 第二世代付帯調査」の実施
- 相続による経済格差を分析するため、資産に関する質問項目の追加

- 技術革新と経済格差を分析するため、新技術の利用や非認知能力に関する質問項目の追加「日本家計パネル調査」は研究代表者らがこれまで 19 年に渡り構築してきたパネルデータである。教育・就業・所得・健康・資産など多岐にわたる家計情報を有するデータであるが、祖父母世代から孫世代にまたがる格差の世代間移転を分析するためには、多世代に渡る家族の情報が必要であると判断した。そこで新たに「家族票」を導入し、調査対象者の同居・非同居家族の情報を収集することを試みた。さらに、対象者の成人した同居・非同居の子どもを対象とした「JHPS 第二世代付帯調査」を 2018 年度から実施し、現在まで計 5 回の調査を実施した。これにより、「日本家計パネル調査」のみでは得ることのできなかった、三世代にわたる家族の情報を整備することができ、格差の世代間移転分析に関する日本では貴重な研究リソースの拡充が実現できた。

また、「日本家計パネル調査」のモジュール調査として、新たに AI など新技術の利用や、仕事特性、IT スキルや非認知能力、自己研鑚、資産に関する新しい質問項目を追加した。これにより、AI などの新技術の活用や、仕事特性や保有する IT スキルが雇用を通じて格差に与える影響、相続や贈与を通じた世代間の資産格差の連鎖に関する分析が可能となった。

さらに、本研究期間中に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、コロナ危機が経済格差に多大な影響を与えうることを予想して、2020 年 2 月に実施した「日本家計パネル調査」の回答者を対象に、緊急的に「JHPS コロナ特別調査」を 2020 年 5 月に実施した。その後、流行の長期化を踏まえて、おおよそ 4 ヵ月おきに調査を実施し、現在に至るまで計 6 回実施した。「日本家計パネル調査」と組み合わせることにより、コロナ流行前後の人々の就業や所得、健康状態などの変化をリアルタイムで捉えることのできるパネルデータとして、貴重な研究リソースを拡充することが可能となった。

(2) 長寿社会に起因する経済格差 研究成果

研究リソースの拡充により実施した研究の研究班毎の成果は以下のとおりである。 〔ワークライフバランス班〕

ワークライフバランス班では、主として5つの重点的研究領域(世代間移転と教育、技術革新と成人学習、世代間移転とウェルビーイング、長寿社会と雇用・賃金、その他)を設けて研究を遂行し、これまでに115本の論文(うち査読付論文42本)と、書籍17冊を発表した。Journal of Happiness Studies、Social Science and Medicine、Journal of the Japanese and International Economies、Japan and the World Economy、Applied Economic Letter、『日本労働研究雑誌』などの学術誌に論文が掲載された。

「世代間移転と教育」では、高等教育に着目し、親や祖父母の経済状況により子どもの学力や進学状況にどのような差が見られるのか、奨学金制度が長期的にみてどの程度格差縮小に寄与しているのか分析した。研究代表者らが出版した『大学への教育投資と世代間所得移転 奨学金は救世主か』(2017 勁草書房)のほか、代表的な論文として、野崎華世・樋口美雄他(2018)「親の所得・家庭環境と子どもの学力の関係:国際比較を考慮に入れて」NIER Discussion Paper Seriesがある。「技術革新と成人学習」については、AI などの新技術が労働市場の二極化をもたらし格差拡大を促す可能性を懸念し、労働者の技能の陳腐化を防ぐための成人学習の重要性を念頭に研究を進めた。例えば、「日本家計パネル調査」を用いて教育訓練給付金の政策評価を行ったYokoyama, Kodama and Higuchi (2018) "Effects of state-sponsored human capital investment on the selection of training type" Japan and the World Economy や、従事する仕事の高度化と賃金との関係を分析した Toru Kobayashi and Isamu Yamamoto (2020) "Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions" Journal of the Japanese and International Economies などがあり、そのほかにも、「日本家計パネル調査(JHPS)」の新技術やスキルに関する新たな質問項目を利用した研究に関して、Western Economic Association International などの国際学会で発表した。

「世代間移転とウェルビーイング」については、研究分担者の山本勲を中心に、長時間労働とメンタルへルスなどの関係を検証し、働き方や健康格差などへの知見を見出した複数の査読付論文を発表している。また、「JHPS 第二世代付帯調査」を利用し、親子間での健康状態の関連を分析した、石井加代子・山本勲(2020)「日本における健康の世代間移転 JHPS 第二世代付帯調査を用いた検証 JPDRC Discussion Paper Series や、「JHPS コロナ特別調査」を利用した石井加代子・中山真緒・山本勲(2021)「コロナ禍での在宅勤務の潜在的メリットと定着可能性:パネルデータを用いた検証」PDRC Discussion Paper Series もあげられ、海外のジャーナルに投稿しレフリーコメントに基づきリバイスを行っている。さらに、「JHPS コロナ特別調査」の研究成果をまとめた書籍『コロナ禍と家計のレジリエンス格差』を出版し、セミナー「コロナ期日本の働き方、家計のレジリエンス格差」も開催した。「長寿社会と雇用・賃金」についても多くの査読付論文を発表した。研究代表者の樋口美雄は「日本家計パネル調査(JHPS)」を用い、「日本の高齢者の就業行動・引退行動:パネルデータを用いた属性要因・政策効果の実証分析」(共著) PDRC Discussion Paper Series を発表し、投稿に向けて論文の改訂を進めている。

#### [次世代育成班]

次世代育成班では、「日本家計パネル調査」の対象者の子ども(小中学生)を対象とした「日本子どもパネル調査」を引き続き実施し、親世代における経済格差が子への教育投資や子の学力にどのような差をもたらしているのか、複数の視点から分析した。主に、7つの研究課題を設けて、中国や米国との国際共同研究を積極的に進めて、コロナ禍前までは国内外の学会・セミナーにて複数回研究報告を行ってきた。「子どもの時間の使い方と学力」および「日本における教育投資と教育成果の男女間格差」は Chinese Journal of Sociology に掲載された。「家計所得が子どもの教育成果と教育費支出に与える因果的効果: 我が国の児童手当改革を用いた検証」は Journal of the Japanese and International Economies に掲載された。教育資金贈与信託制度が教育投資および学力等に与えた効果に関する実証研究」については、Potsdum 大学での Society for Longitudinal and Lifecourse Studies で発表後、改訂を行っている。さらに、欧州との共同研究として European Journal of Public Health に母親の就業と子どもの肥満に関する論文の掲載が決まっている。また、「JHPS第二世代付帯調査」を活用した「大学での奨学金受給と家計の経済状況: JHPS第二世代付帯調査による分析」をDPとして公表、国際学会で報告済の「奨学金の受給返済と若者のライフコース-JHPS第2世代追跡調査データに基づく実証分析」とともに、現在改訂中である。

#### 〔資産格差班〕

資産格差班では、住宅等の実物資産・金融資産の相続が子世代における富の蓄積や資産の格差にどのような影響を与えているかに焦点を当て分析を進めた。これまでに、12 本の査読付論文が国内外の学術誌に採択され、洋書 1 冊を発刊することができた。採択された学術誌は、International Journal of Economic Policy Studies (2本)、International Journal of Housing Markets and Analysis (2本)、International Real Estate Review、Journal of Housing Economics、Journal of Spatial Econometrics、Journal of Sustainable Real Estate、Journal of Urban Economics、Review of Economics of the Household、Spatial Economic Analysis、季刊住宅土地経済、日本不動産学会誌である。日本不動産学会誌に投稿した論文が、2020年度論文賞を受賞した。現在は、「日本家計パネル調査」「第二世代付帯調査」を利用して、二世代・三世代にわたる資産の移転と経済格差への影響を、特に居住地選択との関連に着目しながら分析している。

#### 〔財政班〕

財政班においては、「日本家計パネル調査」の所得情報を用いた、税や社会保障を考慮した可処分所得の推計プログラムの作成を中心に活動した。財政班が推計する可処分所得はルクセンブルク所得研究 (LIS) の所得に関する国際比較データの日本のデータとして、広く世界の研究者に利用されている。また、本班では査読付論文を 11 本輩出し、International Institute of Public Finance や Econometric Society などの国際学会での発表も積極的に行った。また、洋書 1 冊の刊行の準備が整っている。

### 〔社会保障班〕

社会保障班では、班全体として、「日本家計パネル調査」を活用して、相対所得と生活満足度との関係を分析した。成熟した社会を迎えたわが国で一人当たり所得が増加しているにもかかわらず、平均的な幸福度が上がらない事実に着目し、他人と比較した「相対所得」が満足度といったウェルビーイングに重要な影響を与えていることを実証的に明らかにした。長寿社会における所得格差の弊害について重要な示唆を得ることができた。また、定年退職と健康の関係を分析した研究が査読付論文として The Journal of Gerontology に掲載された。ほかにも、「JHPS コロナ特別調査」を利用して、コロナ危機によるショックに対する経済的脆弱性について分析した石井加代子・山田篤裕(2021)「コロナ禍における低所得層の経済的脆弱性」『貧困研究』などがある。(3) 国際連携について

# 日本を代表するパネルデータとして、「日本家計パネル調査」の国際機関への提供を継続した。 具体的には、ルクセンブルク所得研究の Luxemburg Income Study (LIS) やオハイオ州立大学が 指揮をとる国際パネルデータベース Cross-National Equivalent File (CNEF) への継続的なデータ 提供である。CNEF については、データサイト Investigator でデータ提供すべく調整を行った。こ

2019 年度からはフランスの EHESS (社会科学高等研究院)と技術革新とウェルビーイング・

れらの研究機関を通じて、世界の研究者に、「日本家計パネル調査」が利用されている。

経済格差に関する共同研究を開始し、2019 年 11 月に最初のワークショップをパリにて開催し、その後、2022 年 8 月に日本にて開催、2023 年 3 月にパリにてワークショップを開催した。「日本家計パネル調査」における技術革新と自己研鑽の情報に関しては、OECD(経済協力開発機構)が取り組んでいる成人教育分野の研究に用いられ、本研究チームでの分析結果を提供するなど、国際連携に貢献することができた。

「日本家計パネル調査」のサンプルバイアス補正ウエイトの作成においては、パネルデータのウエイトに関する研究蓄積が日本では十分なかったため、欧州の家計パネル調査(EU-SILC)におけるウエイトの作成担当者に直接指示を仰ぐことができた。

さらに、新型コロナウイルス感染症流行を受けて、緊急的に実施した「JHPS コロナ特別調査」は、前述の CNEF 参加 11 か国と共同で共通質問項目を設けており、世界的ショックが家計に与えた影響に関する国際比較研究を行うための基盤づくりを 11 か国と連携して取り組んでいる。また、英国 King's college の教授らと、コロナ危機が労働市場に与えた影響に関する研究テーマで日英での共同研究を開始し、数回のオンライン会議を経て、2023 年 3 月にロンドンにて研究報告会議を開催した。コロナ禍で移動の制限があるなかでも、国際連携を継続的に進めることができた。

# (4) 研究インフラの整備

本センターが設計・実査している「日本家計パネル調査」を始めとしてパネルデータの利用者の拡大、利用者に向けての利便性の向上のため、Webベースでのデータ申請・提供や、各年のデータをパネルデータ化する「データ構築プログラム」の作成・提供を進めてきた。さらに、センターで提供するパネルデータの主要変数を即時に集計できる「オンデマンド・オンライン分析システム」の構築、パネルデータ内の情報を整理した「データ変数カタログ」のシステム開発を進め、一般公開した。データの適用範囲を増やすため、データベースの整備が進んでいる。また、本センターで提供しているパネルデータの質の維持・向上のため、欧州の専門家よりアドバイスを受け、標本脱落やサンプル追加により発生するサンプリングバイアスの修正を行うウエイトの作成を再検討し、一般公開にこぎつけた。パネル調査の実査においても、2018 年度から一部でインターネット調査を導入し、回答者の負担軽減を試みた。インターネット調査の導入に関しては、コロナ禍を期に、より定着したシステムにすべく改良を進めた。

# 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計184件(うち査読付論文 62件/うち国際共著 28件/うちオープンアクセス 74件)

「粧心神久」 計104件(フラ直説刊神文 02件/フラ国际共有 20件/フラオーフングラセス 14件)	
1 . 著者名 山本勲・石井加代子・樋口美雄	4.巻 2020-006
2 . 論文標題 新型コロナウイルス感染症流行初期の雇用者の就業・生活・ウェルビーイング パンデミック前後のリ アルタイムパネルデータを用いた検証	5.発行年 2021年
3.雑誌名 慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センターディスカッションペーパー	6.最初と最後の頁 1-51
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 佐藤一磨・深堀遼太郎・樋口美雄	4.巻 2020-002
2 . 論文標題 日本の高齢者の就業行動・引退行動:パネルデータを用いた属性要因・政策効果の実証分析	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センターディスカッションペーパー	6.最初と最後の頁 1-45
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
	1
1 . 著者名 Toru Kobayashi, Isamu Yamamoto	4.巻 58
2 . 論文標題 Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions	5 . 発行年 2020年
Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions  3 .雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions  3 . 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2020.101110	2020年 6.最初と最後の頁 1-17 査読の有無
Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions  3 . 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2020.101110  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 1-17 査読の有無 有 国際共著
Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions  3 . 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2020.101110  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Miwako Nagasu, Isamu Yamamoto	2020年 6.最初と最後の頁 1-17 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15(10)
Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions  3.雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2020.101110  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Miwako Nagasu, Isamu Yamamoto  2.論文標題 Impact of socioeconomic- and lifestyle-related risk factors on poor mental health conditions: A nationwide longitudinal 5-wave panel study in Japan	2020年 6.最初と最後の頁 1-17  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 15(10)  5.発行年 2020年
Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions  3.雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2020.101110  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Miwako Nagasu, Isamu Yamamoto  2.論文標題 Impact of socioeconomic- and lifestyle-related risk factors on poor mental health conditions: A	2020年 6.最初と最後の頁 1-17  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 15(10) 5.発行年
Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions  3 . 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2020.101110  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Miwako Nagasu, Isamu Yamamoto  2 . 論文標題 Impact of socioeconomic- and lifestyle-related risk factors on poor mental health conditions: A nationwide longitudinal 5-wave panel study in Japan  3 . 雑誌名 PLoS ONE	2020年 6.最初と最後の頁 1-17  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15(10) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 1-15
Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions  3 . 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2020.101110  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Miwako Nagasu, Isamu Yamamoto  2 . 論文標題 Impact of socioeconomic- and lifestyle-related risk factors on poor mental health conditions: A nationwide longitudinal 5-wave panel study in Japan  3 . 雑誌名 PLoS ONE  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0240240	2020年 6.最初と最後の頁 1-17  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15(10) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 1-15  査読の有無 有
Job tasks and wages in the Japanese labor market: Evidence from wage functions  3.雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2020.101110  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Miwako Nagasu, Isamu Yamamoto  2. 論文標題 Impact of socioeconomic- and lifestyle-related risk factors on poor mental health conditions: A nationwide longitudinal 5-wave panel study in Japan  3. 雑誌名 PLoS ONE  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 1-17  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15(10) 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 1-15

Kaori Muto, Isamu Yanamoto, Miwako Nagasu, Nikihito Tanaka, Koji Wada   19(6)   19(7)   2000年   19(7)   3月24日   19(7)   3月24日   3月		T
	1 . 著者名	4.巻
Japanese citizens' behavioral changes and preparedness against COVID-19: An online survey during the early phase of the pandesic         2020年           1. 練誌名 PLoS ONE         6. 最初と競技の見 1.18           1.0.1371/journal.pone.0234292         置読の有無 有 1.18           1. 著者名 Akinito Shimazu, Akinori Nakata, Tosohisa Nagata, Yutaka Arakawa, Sachiko Kuroda, Nobuyuki (Inanizu, Isawu Yamanoto 論文榜差		
Japanese citizens' behavioral changes and preparedness against COVID-19: An online survey during the early phase of the pandesic         2020年           1. 練誌名 PLoS ONE         6. 最初と競技の見 1.18           1.0.1371/journal.pone.0234292         置読の有無 有 1.18           1. 著者名 Akinito Shimazu, Akinori Nakata, Tosohisa Nagata, Yutaka Arakawa, Sachiko Kuroda, Nobuyuki (Inanizu, Isawu Yamanoto 論文榜差	0	7.77
August		
August	Japanese citizens' behavioral changes and preparedness against COVID-19: An online survey	2020年
8. 諸略名 PLOS ONE		
### PLOS ONE		6 見知し見後の五
a 議論文の101(デジタルオブジェクト機別子)		6.最例と最後の貝
10.1371/ journal .pone.0234282   有	PLoS ONE	1-18
10.1371/ journal .pone.0234282   有		
10.1371/ journal .pone.0234282   有	担動会立のDOL / デンジカルナガンジェカト 毎回フト	本性の左位
1 - ブンアクセス		
・著者名	10.1371/journal.pone.0234292	有
・著者名	オープンアクセス	国際共著
Akihito Shimazu, Akinori Nakata, Tomohisa Nagata, Yutaka Arakawa, Sachiko Kuroda, Nobuyuki Inamaizu, Isamu Yamanoto   2. 論文標題	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Akihito Shimazu, Akinori Nakata, Tomohisa Nagata, Yutaka Arakawa, Sachiko Kuroda, Nobuyuki Inamaizu, Isamu Yamanoto   2. 論文標題		
Inamizu.   Isamu Yamamoto   2. 論文標題   2. 論文標題   5. 発行年   2020年   3. 雑誌名   Journal of Occupational Health   6. 展初と最後の頁   1.2   1.	1.著者名	4.巻
2. 論文標題		62(1)
Psychosocial impact of COVID 19 for general workers 2020年 3. 雑誌名		5 . 発行年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health  6. 最初と最後の頁 1-2  査読の有無 10.1002/1348-9585.12132  カープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Isamu Yamamoto 2. 論文標題 Research on the task models to cooperate with the human and new technology: Evaluating the impacts on Isabur market 3. 雑誌名 Impact 1		
Journal of Occupational Health	rsychosocial impact of COVID 19 for general workers	2020年
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Journal of Occupational Health	1-2
### 10.1002/1348-9585.12132	The second secon	
### 10.1002/1348-9585.12132	見載絵文のDOL / ごごカリナブジェカト端則スト	本芸の方無
1 - ブンアクセス		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	10.1002/1348-9585.12132	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	オープンアクセス	国際共著
. 著者名   Isamu Yamamoto		
Isamu Yamamoto   2021(2)   2. 論文標題   5. 発行年   2021年     2021年   2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年   2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年   2021年     2021年   2021年     2021年   2021年     2021年     2021年   2021年     2021年     2021年     2021年   2021年     2021年   2021年   2021年     2021年   2021年     2021年     2021年     2021年     2021年	オープファクセスとしている(また、その予定である)	-
Isamu Yamamoto   2021(2)   2. 論文標題   5. 発行年   2021年     2021年   2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年   2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年     2021年   2021年     2021年   2021年     2021年   2021年     2021年     2021年   2021年     2021年     2021年     2021年   2021年     2021年   2021年   2021年     2021年   2021年     2021年     2021年     2021年     2021年	1	A <del>英</del>
2. 論文標題 Research on the task models to cooperate with the human and new technology: Evaluating the impacts on labour market 3. 雑誌名 [mpact]		
Research on the task models to cooperate with the human and new technology: Evaluating the impacts on labour market  3. 雑誌名	Isamu Yamamoto	2021(2)
Research on the task models to cooperate with the human and new technology: Evaluating the impacts on labour market  3. 雑誌名	2 論文煙顊	5 発行年
impacts on labour market       6 . 最初と最後の頁 73-74         3. 雑誌名 Impact       6 . 最初と最後の頁 73-74         a觀論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       国際共著		
3. 雑誌名 Impact       6. 最初と最後の頁 73-74         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1. 著者名 西畑壮哉・山本勲 201       4. 巻 201         2. 論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係 2020年       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 経済分析 6. 最初と最後の頁 1-16       6. 最初と最後の頁 1-16         5. 単行年 2020年 2020年       1. 日本の有無を表慮した女性活躍推進と企業業績の関係 2020年		2021年
Impact	impacts on labour market	
Impact	3. 雑誌名	6 最初と最後の百
<ul> <li>調動論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li> <li>基著名 西畑壮哉・山本勲</li> <li>2. 論文標題情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係</li> <li>3. 雑誌名 経済分析</li> <li>5 . 最初と最後の頁1-16</li> <li>5 . 最初を最後の頁1-16</li> <li>5 . 最初を最後の頁1-16</li> <li>5 . 最初を最後の頁1-16</li> </ul>		
# 日	Impact	/3-74
# 日		
T - プンアクセス		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1.著者名 西畑壮哉・山本勲       4.巻 201         2.論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係       5.発行年 2020年         3.雑誌名 経済分析       6.最初と最後の頁 1-16         3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	$\mathcal{L} \cup$	無
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1.著者名 西畑壮哉・山本勲       4.巻 201         2.論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係       5.発行年 2020年         3.雑誌名 経済分析       6.最初と最後の頁 1-16         3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	t − プンアクセス	国際共著
西畑壮哉・山本勲2012. 論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係5.発行年 2020年3. 雑誌名 経済分析6.最初と最後の頁 1-163載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著		-
西畑壮哉・山本勲2012. 論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係5.発行年 2020年3. 雑誌名 経済分析6.最初と最後の頁 1-163載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	. ***	1 , w
2. 論文標題       5.発行年 2020年         情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係       6.最初と最後の頁 1-16         3. 雑誌名       6.最初と最後の頁 1-16         尋載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無 有         なし       有	l <del>学艺</del> 之	_
情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係       2020年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁 1-16         尋載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無 有         なし       有		I 201
情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係       2020年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁         経済分析       1-16         a載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著		201
3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         経済分析       1-16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著	西畑壮哉・山本勲	
経済分析       1-16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著	西畑壮哉・山本勲 	5.発行年
経済分析       1-16         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著	西畑壮哉・山本勲 	5.発行年
  弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	西畑壮哉・山本勲 2.論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係	5.発行年 2020年
なし     有       tープンアクセス     国際共著	西畑壮哉・山本勲 2.論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
なし     有       tープンアクセス     国際共著	西畑壮哉・山本勲 2.論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	西畑壮哉・山本勲  2 . 論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係  3 . 雑誌名 経済分析	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 1-16
	西畑壮哉・山本勲 2.論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 1-16
	西畑壮哉・山本勲  2. 論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係  3. 雑誌名 経済分析  弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 1-16 査読の有無
	西畑壮哉・山本勲  2. 論文標題 情報開示の有無を考慮した女性活躍推進と企業業績の関係  3. 雑誌名 経済分析  3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 1-16 査読の有無 有

1.著者名	4.巻
石井加代子・中山真緒・山本勲	20-SJ-01
↑ <u>↑</u> ↑ <del>↑</del> ↑ <del>↑</del> ↑ <del>↑</del> ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	5 3V/= FT
2 . 論文標題	5.発行年
コロナ禍における在宅勤務の実施要因と所得や不安に対する影響	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
労働政策研究・研修機構ディスカッションペーパー	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
山本勲	-
2	。 5
2 . 論文標題	5 . 発行年
働き方改革の経済分析:企業パネルデータと労働者・企業マッチデータを用いた検証	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
現代経済学の潮流	0.取別と取扱の貝
いい NWEAT ユベ州JANI	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
黒田祥子・山本勲	28(1)
2	F 発行左
2. 論文標題	5 . 発行年
働き方、健康、生産性との関係 ~労働生産性の経済学指標の検討	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
産業精神保健	- 最份已载及00点
在来引 IT MC	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	The Lite
オーブンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 英北々	
1. 著者名	4 . 巻
山本勲	-
2.論文標題	5.発行年
人口減少下の日本の労働市場の方向性	2020年
ハロガン ニッコインノコサロッツッノココエ	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
「人口減少と経済成長に関する研究会」報告書(財務省財務総合政策研究所)	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 \$20	4 . 巻
1.著者名   鶴光太郎・山本勲・滝澤美帆	4 . 含
畸儿 <b>心</b> 即:山华烈:"电泽关"则	_
2.論文標題	5.発行年
the contract of the contract o	2020年
企業業績を高めるための働き方改革と従業員のウェルビーイング向上	2020年
3.雑誌名	6 見知と見後の百
** *** * *	6.最初と最後の頁
日経スマートワークOUTLOOK	-
49 ± 44 + 0.00 ( - 2 ° 6 11 + 2 2 ° 6 1 + 46 10 1 7 2	*****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	CT ON 11 ++-
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
山本勲	2020.11
2.論文標題	5.発行年
- ・ 新型コロナウイルス感染症によって加速する非接触型経済への移行	2020年
371エコロンフェルへ心不正に5・2(別だ)を下14両土には、2012日	20207
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
商工ジャーナル	- ・ 取別し取扱の只
ロエンド・ノル	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の左無
	査読の有無
なし	無
	<b>国際共</b> 莽
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1 . 著者名	4.巻
山本勲	66(3)
2.論文標題	5.発行年
現場業務に精通する人材にこそAIリテラシー研修の実施を	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
産業訓練	-
—	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーフファッピス Cla/dvi、 Xlaカーフファッピスが四無	
1 英北存	
1.著者名	
	4 . 巻
山本勲	4. 巻 2020.11
山本勲	2020.11
山本勲 2.論文標題	2020.11 5 . 発行年
山本勲	2020.11
山本勲 2.論文標題 コロナ禍によって加速する働き方改革	2020.11 5.発行年 2020年
山本勲 2.論文標題	2020.11 5 . 発行年
山本勲  2.論文標題 コロナ禍によって加速する働き方改革  3.雑誌名	2020.11 5.発行年 2020年
山本勲 2.論文標題 コロナ禍によって加速する働き方改革	2020.11 5.発行年 2020年
山本勲 2.論文標題 コロナ禍によって加速する働き方改革 3.雑誌名	2020.11 5.発行年 2020年
山本勲  2.論文標題 コロナ禍によって加速する働き方改革  3.雑誌名 タリスマン	2020.11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
山本勲         2. 論文標題 コロナ禍によって加速する働き方改革         3. 雑誌名 タリスマン         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020.11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
山本勲  2.論文標題 コロナ禍によって加速する働き方改革  3.雑誌名 タリスマン	2020.11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
山本勲         2. 論文標題 コロナ禍によって加速する働き方改革         3. 雑誌名 タリスマン         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	2020.11  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 -  査読の有無
山本勲         2. 論文標題 コロナ禍によって加速する働き方改革         3. 雑誌名 タリスマン         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020.11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 

	1
1 . 著者名	4 . 巻
山本勲	129
2、40个性距	F 整仁左
2.論文標題	5.発行年
Alなどの新しい技術の進歩と雇用・賃金・働き方	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
産政研フォーラム	12-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
石川 武・敷島千鶴	29
2 . 論文標題	5.発行年
- 1 min スポルと 二分法思考傾向と質問紙におけるレスポンス・スタイルとの関連の検討	2020年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
パーソナリティ研究	14-16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.2132/personality.29.1.5	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国际共有
7 7777 EXECUTION ( & R.C. CON 1 & CON 3 )	
1 . 著者名	4 . 巻
駒村康平	36(3)
	5 3V/- F
2 . 論文標題	5.発行年
公私年金一体改革と長寿時代における年金税制等のあり方	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
税研	64-73
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
	<i>~</i> "
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	541
2 . 論文標題	5 . 発行年
長寿社会における認知機能低下と金融ジェロントロジーの可能性	2021年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
生活協同組合研究	5-14
担新公立のDOL/ごごクリナブご。クリ神団フト	本芸の左伽
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
The state of the s	1

1 著者名 瀬古美喜       4.巻 117         2 .論文標題 高齢化社会と住宅市場 - 退職貯蓄パズルをめぐってー       5.発行年 2020年         3. 雑誌名 季刊 住宅土地経済       6.最初と最後の頁 2.7         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1.著者名 瀬古美喜         2.論文標題 企業における女性役員の活躍       5.発行年 2020年         3.雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6.最初と最後の頁 - 一         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 - 一         1.著者名 湘古美喜・新倉博明       4.巻 47         2.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5.発行年 2020年         3.雑誌名 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5.発行年 2020年         3.雑誌名       6.最初と最後の頁
2 . 論文標題       5 . 発行年         高齢化社会と住宅市場 ・退職貯蓄パズルをめぐってー       6 . 最初と最後の頁         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         季刊 住宅土地経済       2-7         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       面際共著         1 . 著者名 瀬古美喜       4 . 巻         2 . 論文標題 企業における女性役員の活躍       5 . 発行年 2020年         3 . 稚誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6 . 最初と最後の頁         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
高齢化社会と住宅市場 - 退職貯蓄バズルをめぐってー       2020年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁 2-7         掲載論文の000 (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         1. 著者名 瀬古美喜       4. 巻 -         2. 論文標題 企業における女性役員の活躍       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6. 最初と最後の頁 -         掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1. 著者名 瀬古美喜・新倉博明         1. 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4. 巻 -         2. 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁
高齢化社会と住宅市場 - 退職貯蓄バズルをめぐってー       2020年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁 2-7         掲載論文の000 (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         1. 著者名 瀬古美喜       4. 巻 -         2. 論文標題 企業における女性役員の活躍       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6. 最初と最後の頁 -         掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1. 著者名 瀬古美喜・新倉博明         1. 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4. 巻 -         2. 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁
高齢化社会と住宅市場 - 退職貯蓄バズルをめぐってー       2020年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁 2-7         掲載論文の000 (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         1. 著者名 瀬古美喜       4. 巻 -         2. 論文標題 企業における女性役員の活躍       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6. 最初と最後の頁 -         掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1. 著者名 瀬古美喜・新倉博明         1. 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4. 巻 -         2. 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁
3 . 雑誌名
季刊 住宅土地経済       2-7         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無無         オープンアクセス       国際共著         1 著名名 瀬古美喜       4 巻 ・         2 論文標題企業における女性役員の活躍       5 発行年2020年         3 雑誌名       6 最初と最後の頁でありに、デジタルオブジェクト識別子)なし         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著・カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難・・         1 著名名瀬古美喜・新倉博明       4 巻
季刊 住宅土地経済       2-7         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無無         オープンアクセス       国際共著         1 著名名 瀬古美喜       4 巻 ・         2 論文標題企業における女性役員の活躍       5 発行年2020年         3 雑誌名       6 最初と最後の頁でありに、デジタルオブジェクト識別子)なし         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著・カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難・・         1 著名名瀬古美喜・新倉博明       4 巻
季刊 住宅土地経済       2-7         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名 湖古美喜       4 . 巻 ・         2 . 論文標題企業における女性役員の活躍       5 . 発行年2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁・         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著・カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難・・         1 . 著者名 湖古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5 . 発行年2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 瀬古美喜 2 . 論文標題 企業における女性役員の活躍 3 . 雑誌名
## オープンアクセス
# オープンアクセス
## オープンアクセス
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 瀬古美喜  2 . 論文標題 企業における女性役員の活躍  3 . 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集  6 . 最初と最後の頁 ではない、アプラットではない。アプラットではないない。アプラットではないないない。アプラットではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 瀬古美喜       4 . 巻 -         2 . 論文標題 企業における女性役員の活躍       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6 . 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析 3 . 雑誌名       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 瀬古美喜       4 . 巻 -         2 . 論文標題 企業における女性役員の活躍       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6 . 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析 3 . 雑誌名       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名       4 . 巻         瀬古美喜       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6 . 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析 3 . 雑誌名       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
1 . 蓄者名       4 . 巻         瀬古美喜       5 . 発行年 2020年         2 . 論文標題 企業における女性役員の活躍       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6 . 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析 3 . 雑誌名       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
瀬古美喜       -         2 . 論文標題 企業における女性役員の活躍       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6 . 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析 2 . 2020年       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
瀬古美喜       -         2 . 論文標題 企業における女性役員の活躍       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6 . 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析 2 . 2020年       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 企業における女性役員の活躍       5.発行年 2020年         3.雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集       6.最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1.著者名 瀬古美喜・新倉博明       4.巻 47         2.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5.発行年 2020年         3.雑誌名       6.最初と最後の頁
企業における女性役員の活躍2020年3.雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集6.最初と最後の頁 -掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 -1.著者名 瀬古美喜・新倉博明4.巻 472.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁
企業における女性役員の活躍2020年3.雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集6.最初と最後の頁 -掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難国際共著 -1.著者名 瀬古美喜・新倉博明4.巻 472.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁
企業における女性役員の活躍2020年3.雑誌名 武蔵野大学2019年礼拝講話集6.最初と最後の頁 -掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著1.著者名 瀬古美喜・新倉博明4.巻 472.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無         オープンアクセス       国際共著         1.著者名 瀬古美喜・新倉博明       4.巻         2.論文標題企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5.発行年2020年         3.雑誌名       6.最初と最後の頁
武蔵野大学2019年礼拝講話集-掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著1.著者名 瀬古美喜・新倉博明4.巻 472.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁
武蔵野大学2019年礼拝講話集-掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著1.著者名 瀬古美喜・新倉博明4.巻 472.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁
武蔵野大学2019年礼拝講話集-掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著1.著者名 瀬古美喜・新倉博明4.巻 472.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
なし無オープンアクセス国際共著1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明4 . 巻 472 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁
なし無オープンアクセス国際共著1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明4 . 巻 472 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁
なし無オープンアクセス国際共著1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明4 . 巻 472 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁
なし無オープンアクセス国際共著1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明4 . 巻 472 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス       国際共著         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 瀬古美喜・新倉博明       4 . 巻 47         2 . 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名       4 . 巻         瀬古美喜・新倉博明       47         2 . 論文標題       5 . 発行年         企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       2020年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁
瀬古美喜・新倉博明472.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁
瀬古美喜・新倉博明472.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁
瀬古美喜・新倉博明472.論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁
2. 論文標題 企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名       6. 最初と最後の頁
企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析       2020年         3.雑誌名       6.最初と最後の頁
企業における人材多様性の向上が業績に与える効果のパネルデータ分析 2020年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁
3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁
3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁
武蔵野大学しあわせ研究所通信
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無
なし
オープンアクセス
オープンアクセスとしている(また、その予定である)
1 . 著者名 4 . 巻
H. Niikura, M.Seko 14
2 . 論文標題 5 . 発行年
2.論文標題 5.発行年 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First 2020年
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  5.発行年 2020年
2.論文標題 5.発行年 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First 2020年
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  3.雑誌名 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  5.発行年 2020年
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  3.雑誌名 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  3.雑誌名 International Journal of Economic Policy Studies  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 123-166
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  3.雑誌名 International Journal of Economic Policy Studies  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 123-166
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  3.雑誌名 International Journal of Economic Policy Studies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  3.雑誌名 International Journal of Economic Policy Studies  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 123-166
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  3.雑誌名 International Journal of Economic Policy Studies  4載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x  有
2.論文標題 The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market  3.雑誌名 International Journal of Economic Policy Studies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無

	1
1.著者名	4.巻
石野卓也・直井道生・瀬古美喜・隅田和人	2020-005
2 . 論文標題	5.発行年
親からの資産移転期待と子供の資産蓄積	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
<b>夏應義塾大学パネルデータ設計・解析センターディスカッションペーパー</b>	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
iguing fa エハ J ハ I アルフ ア J A J I J I J I J I J I J I J I J I J I	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 5544	A 44
1.著者名	4.巻 DP2020-019
新倉博明・直井道生・瀬古美喜	DP2020-019
2.論文標題	5 . 発行年
持ち家取得時の情報収集行動と住宅満足度	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
1.有有有 新倉博明・直井道生・瀬古美喜	4.音 34(3)
2 . 論文標題	5 . 発行年
持ち家取得時の情報収集行動と住宅満足度	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本不動産学会誌	93-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
瀬古美喜	-
2.論文標題	5.発行年
幸せな暮らしには、ライフステージに合った住居が必要です	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
いい引越し.com 『大学研究の現場から』	- AX // CAX (X V) X
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著

	. "
1.著者名	4 . 巻
Miki Seko	21(1)
2.論文標題	5 . 発行年
A Review of "Housing in Post-Growth Society: Japan on the Edge of Social Transition", by Yosuke	
	20214
Hirayama and Misa Izuhara	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Housing Policy	153-155
Ç	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/19491247.2021.1877386	無
10.1000/19491247.2021.1077300	ж.
オープンアクセス	<b>国際共芸</b>
· · · · · · = · ·	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
直井道生・瀬古美喜・隅田和人・石野卓也	2020-011
且开足工。据日天告。附出和八、日野干也	2020 011
2	F 784=75
2 . 論文標題	5 . 発行年
家計資産の世代間相関:JHPS第二世代付帯調査を用いた実証分析	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
<b>慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センターディスカッションペーパー</b>	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
夜  恋我生八十八か  リーノ   又口  ・   折打  ヒノノーノ 1 人	- I
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
7 7777 EACOCH ( & CO 1/2 COS)	
4 ************************************	I 4 <del>**</del>
1.著者名	4 . 巻
土居丈朗	113
2.論文標題	5 . 発行年
- 1 間の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2021年
川は7か以下が にいは1日年につたたが音に対する ヘコノロノヘコレーノコノカ州	20217
2 Mt++47	6 見知し見後の古
3. 維誌名	6.最初と最後の頁
三田学会雑誌	35-48
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンマクセフ	国際共革
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4.巻 DP2021-004
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki	DP2021-004
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題	DP2021-004 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki	DP2021-004
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation	DP2021-004 5.発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題	DP2021-004 5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation  3 . 雑誌名	DP2021-004 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation	DP2021-004 5.発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation  3 . 雑誌名	DP2021-004 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation  3 . 雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series	DP2021-004  5 . 発行年 2021年  6 . 最初と最後の頁 1-9
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation  3 . 雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	DP2021-004  5 . 発行年 2021年  6 . 最初と最後の頁 1-9
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation  3 . 雑誌名	DP2021-004  5 . 発行年 2021年  6 . 最初と最後の頁 1-9
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation  3 . 雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	DP2021-004  5 . 発行年 2021年  6 . 最初と最後の頁 1-9
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation  3 . 雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	DP2021-004  5 . 発行年 2021年  6 . 最初と最後の頁 1-9  査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mihailov, A., M. Ogaki  2 . 論文標題 Persistent Divides in Beliefs, Conflict, and Innovation  3 . 雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	DP2021-004  5 . 発行年 2021年  6 . 最初と最後の頁 1-9

1 . 著者名	4 . 巻
Sekita, S., V. Kakkar, M. Ogaki	607
	5.発行年
ু ১ আন্তর্গালন্ত   Wealth, Financial Literacy and Behavioral Biases in Japan: the Effect of various Types of	2021年
Financial Literacy	2021—
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
University of Rochester RCER Working Pape	1-29
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	* + o + m
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
し なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
1 . 著者名	4 . 巻
Ito T., Iwata K., McKenzie C., S. Urata	15(1)
2	
2. 論文標題	5 . 発行年
Trade Wars: Editors' Overview	2020年
	6.最初と最後の頁
Asian Economic Policy Review	1-30
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/aepr.12292	無
   オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
13 JJJ J CIN CIO GO N XIO 13 JJJ J CXXX EIXE	w I / G
1.著者名	4 . 巻
Hill H., Ito T., Iwata K., McKenzie C., S. Urata	15(2)
	` '
2.論文標題	5.発行年
2.論文標題 Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview	
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview	5.発行年 2020年
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview	5.発行年 2020年
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3 . 雑誌名 Asian Economic Policy Review	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3 . 雑誌名 Asian Economic Policy Review	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3 . 雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3 . 雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 McKenzie C.	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3 . 雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 McKenzie C. 2 . 論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 16(1) 5 . 発行年
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3 . 雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 McKenzie C.	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 McKenzie C.  2.論文標題 Comment on "Total-Factor Energy and Emission Efficiencies of ASEAN and other Asian Economies"	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 16(1) 5 . 発行年 2021年
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 McKenzie C.  2.論文標題 Comment on "Total-Factor Energy and Emission Efficiencies of ASEAN and other Asian Economies"  3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 16(1) 5 . 発行年
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3 . 雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 McKenzie C.  2 . 論文標題 Comment on "Total-Factor Energy and Emission Efficiencies of ASEAN and other Asian Economies"	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 16(1) 5 . 発行年 2021年
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 McKenzie C.  2.論文標題 Comment on "Total-Factor Energy and Emission Efficiencies of ASEAN and other Asian Economies"  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 16(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 16(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 McKenzie C.  2.論文標題 Comment on "Total-Factor Energy and Emission Efficiencies of ASEAN and other Asian Economies"  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 16(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3 . 雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 McKenzie C.  2 . 論文標題 Comment on "Total-Factor Energy and Emission Efficiencies of ASEAN and other Asian Economies"  3 . 雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12324	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 16(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
Economic Reform in ASEAN: Editors' Overview  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12312  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 McKenzie C.  2.論文標題 Comment on "Total-Factor Energy and Emission Efficiencies of ASEAN and other Asian Economies"  3.雑誌名 Asian Economic Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 165-184 査読の有無 無 国際共著 該当する 4 . 巻 16(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -

1.著者名	1 <del>2</del> <u>*</u>
Sakata K, McKenzie C.	4 . 巻 
Sanata N, WUNCHZIE U.	
2.論文標題	5 . 発行年
Does the Expectation of Having to Look after Parents in the Future Affect Current Fertility	2021年
bots the Expectation of having to Look after Farches in the Future Affect out on Ferritry	2021—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Demographic Economics	-
Souther of Domographic Contonitos	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1017/dem.2020.35	有
オープンアクセス	国際共著
- ファファ コハ オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	W-1 / 3
1.著者名	4 . 巻
Ito T., Iwata K., McKenzie C., S. Urata	16(1)
rto r., rmata N., monon∠ro v., v. viata	
2 . 論文標題	5.発行年
2 . 調文标题 Energy and the Environment: Editors' Overview	2021年
Energy and the Environment. Editors Overview	ZUZ I <del>'  </del>
- M社夕	6 早知と早後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Asian Economic Policy Review	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の方無
	査読の有無
10.1111/aepr.12334	無
· - プンアクセス	
コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーノンァン ヒヘ Cはない、 Xはカーノファンセ人が凶難	該当する
   . 著者名	4.巻
—	4.音   20-P-019
佐藤香織・黒田祥子・大湾秀雄	20-6-018
!論文標題	5 . 発行年
働き方・休み方と労働者のメンタルヘルス:一日本企業の勤怠データを用いた検証	2020年
3.雑誌名	6 見知と見後の五
	6.最初と最後の頁
RIETI Policy Discussion Paper Series	1-29
	1-29
RIETI Policy Discussion Paper Series	
RIETI Policy Discussion Paper Series 弱載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
RIETI Policy Discussion Paper Series	
RIETI Policy Discussion Paper Series 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
RIETI Policy Discussion Paper Series 弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし ナープンアクセス	査読の有無
RIETI Policy Discussion Paper Series 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 無 国際共著
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 無 国際共著
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 無 国際共著
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  I.著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
RIETI Policy Discussion Paper Series  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  「一プンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  I. 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan  2. 論文標題 Working from home: its effects on productivity and mental health	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2021年
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan  2. 論文標題 Working from home: its effects on productivity and mental health  3. 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan  2. 論文標題 Working from home: its effects on productivity and mental health	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2021年
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan  2. 論文標題 Working from home: its effects on productivity and mental health  3. 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
RIETI Policy Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan  2 . 論文標題 Working from home: its effects on productivity and mental health  3 . 雑誌名 Covid Economics	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 142-171
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan  2 . 論文標題 Working from home: its effects on productivity and mental health  3 . 雑誌名 Covid Economics	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 142-171
RIETI Policy Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan  2 . 論文標題 Working from home: its effects on productivity and mental health  3 . 雑誌名 Covid Economics	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 142-171
RIETI Policy Discussion Paper Series  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 142-171 査読の有無 有
RIETI Policy Discussion Paper Series  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ritsu Kitagawa, Sachiko Kuroda, Hiroko Okudaira, Hideo Owan  2 . 論文標題 Working from home: its effects on productivity and mental health  3 . 雑誌名 Covid Economics	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 142-171

1.著者名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎	4 344
女升健悟・佐野首平・久木切一・鶴尤太即	4.巻
	20-J-024
AA A LEDT	= 7V./= h=
2.論文標題	5 . 発行年
認知能力及び非認知能力が賃金に与える影響について	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Discussion Paper	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
40	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Okubo, T., Narita, D., Rehdanz, K., Schroeder, C.	13(11)
2 . 論文標題	5 . 発行年
Preferences for nuclear power in post-Fukushima Japan: Evidence from a large nationwide	2020年
household survey.	2020 1-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	○・取別に取役の只
Energies	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/en13112938	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Felbermayr, G., Okubo, T.	DP2020-10
reflermayr, G., Okubo, T.	DI 2020-10
2 . 論文標題	5.発行年
	1 3 . #:11 <del>4</del>
Z . 論文標題 Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey	2020年
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey	2020年
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名	
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey	2020年
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series	2020年 6.最初と最後の頁 -
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series	2020年 6.最初と最後の頁 -
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Okubo, T	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 32
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Okubo, T  2.論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 32
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Okubo, T	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 32 5.発行年
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Okubo, T  2.論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan	2020年 6.最初と最後の頁
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Okubo, T  2.論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 32 5.発行年
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Okubo, T  2.論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan	2020年 6.最初と最後の頁
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Okubo, T  2.論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Okubo, T  2.論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan  3.雑誌名 Covid Economics	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 32 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Okubo, T  2 . 論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Covid Economics	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 32 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Okubo, T  2.論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan  3.雑誌名 Covid Economics	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 32 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  1.著者名 Okubo, T  2.論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan  3.雑誌名 Covid Economics	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 32 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無
Individual Preferences on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-Institute for Economic Studies Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Okubo, T  2 . 論文標題 Spread of COVID-19 and Telework: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Covid Economics	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 32 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無

1.著者名 Okubo, T	
	4 . 巻
UKUDO. I	
0.000,	
2.論文標題	5 . 発行年
Public Preferences on Immigration in Japan	2021年
2 hF±+47	て 見知に見然の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japan and the World Economy	_
ospan and the north construction,	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.japwor.2021.101073	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 524	1 4 <del>24</del>
1.著者名	4 . 巻
Naoi, M., H. Akabayashi, R. Nakamura, K. Nozaki, S. Sano, W. Senoh., C. Shikishima	60
naor, m., n. madayaom, n. manamara, n. nozant, o. dano, n. donom, o. diministra	1
2.論文標題	5 . 発行年
Causal Effects of Family Income on Educational Investment and Child Outcomes: Evidence from a	2021年
Policy Reform in Japan	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of the Japanese and International Economies	101 - 122
* * **	
	1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jjie.2021.101122	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
———————————————————————————————————————	_
Naoi, M., K. Sato, Y. Tanaka, H. Matsuura, S. Nagamatsu	41
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	F 38/-/-
2.論文標題	5.発行年
Natural Hazard Information and Migration across Cities: Evidence from the Anticipated Nankai	2020年
Trough Earthquake	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Population and Environment	452-479
reputation and Environment	102 110
ropuration and Environment	102 170
	102 170
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6	査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6 オープンアクセス	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6	査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6 オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6 オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 M. Naoi	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 M. Naoi 2 . 論文標題 School Quality and Residential Property Values: A Review of Recent Developments and	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6)
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 M. Naoi  2 . 論文標題 School Quality and Residential Property Values: A Review of Recent Developments and Applications	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 M. Naoi  2 . 論文標題 School Quality and Residential Property Values: A Review of Recent Developments and Applications	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 M. Naoi  2 . 論文標題 School Quality and Residential Property Values: A Review of Recent Developments and Applications	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 M. Naoi  2.論文標題 School Quality and Residential Property Values: A Review of Recent Developments and Applications 3.雑誌名 Public Policy Review	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 M. Naoi  2.論文標題 School Quality and Residential Property Values: A Review of Recent Developments and Applications 3.雑誌名 Public Policy Review	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 M. Naoi  2 . 論文標題 School Quality and Residential Property Values: A Review of Recent Developments and Applications  3 . 雑誌名 Public Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無       国際共著       4.巻       16(6)       5.発行年       2020年       6.最初と最後の頁       1-23         査読の有無       無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 16(6) 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11111-020-00346-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 M. Naoi  2 . 論文標題 School Quality and Residential Property Values: A Review of Recent Developments and Applications  3 . 雑誌名 Public Policy Review  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無       国際共著       4.巻       16(6)       5.発行年       2020年       6.最初と最後の頁       1-23         査読の有無       無

1.著者名	4 . 巻
別所俊一郎	145
2.論文標題	5 . 発行年
地域財政乗数と高齢化	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
フィナンシャル・レビュー	15-31
J1JJJ 7 N	15-51
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	711
オープンアクセス	<b>京欧井</b> 莱
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Terai, Kimiko, Amihai Glazer	33(1)
2.論文標題	5 . 発行年
How an ineffective agent can increase his budget	2021年
now an inerrective agent can increase ins budget	2021 <del>T</del>
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Economics and Politics	133-147
Harriston Carlo Ca	*****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/ecpo.12162	有
·	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
1.著者名 Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang	4.巻 67(2)
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang	67(2)
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang 2.論文標題	5 . 発行年
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang 2.論文標題	67(2)
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2 .論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-	5 . 発行年
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2 . 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan	67(2) 5.発行年 2021年
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名	67(2) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2 . 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan	67(2) 5.発行年 2021年
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名	67(2) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2 . 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3 . 雑誌名 Agricultural Economics	67(2) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2 . 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3 . 雑誌名 Agricultural Economics	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2 . 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3 . 雑誌名 Agricultural Economics	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59 査読の有無
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59 査読の有無
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON	67(2)  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 51-59  査読の有無 有
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	67(2)  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 51-59  査読の有無 有  国際共著 該当する
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	67(2)  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 51-59  査読の有無 有  国際共著 該当する
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms- Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 北村行伸	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 北村行伸  2.論文標題	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 719
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 北村行伸	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 北村行伸  2.論文標題 データと経済学の近未来像	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 719 5 . 発行年 2021年
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 北村行伸  2.論文標題	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 719
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 北村行伸  2.論文標題 データと経済学の近未来像  3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 719 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 北村行伸  2.論文標題 データと経済学の近未来像	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 719 5 . 発行年 2021年
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 北村行伸  2.論文標題 データと経済学の近未来像  3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 719 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2. 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3. 雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 北村行伸  2. 論文標題 データと経済学の近未来像  3. 雑誌名 経済セミナー	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 719 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 22-27
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2.論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3.雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 北村行伸  2.論文標題 データと経済学の近未来像  3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 719 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2. 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3. 雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 北村行伸  2. 論文標題 データと経済学の近未来像  3. 雑誌名 経済セミナー	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 719 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 22-27
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2 . 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3 . 雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 北村行伸  2 . 論文標題 データと経済学の近未来像  3 . 雑誌名 経済セミナー  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 719 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 22-27
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2 . 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3 . 雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 北村行伸  2 . 論文標題 データと経済学の近未来像  3 . 雑誌名 経済セミナー  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 719 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 22-27
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2. 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3. 雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 北村行伸  2. 論文標題 データと経済学の近未来像  3. 雑誌名 経済セミナー  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 719 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 22-27
Yukinobu Kitamura, Yessica C.Y.Chung, Hung-Hao Chang  2 . 論文標題 Digital and Traditional Media Advertising and Business Performance of Agribusiness Firms-Empirical Evidence in Japan  3 . 雑誌名 Agricultural Economics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.17221/393/2020-AGRICECON  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 北村行伸  2 . 論文標題 データと経済学の近未来像  3 . 雑誌名 経済セミナー  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 51-59 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 719 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 22-27

. ***	
1. 著者名	4.巻
北村行伸	53
2.論文標題	5 . 発行年
産業連関表から供給・使用表へ	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
経済所報(法政大学日本統計研究所)	1-11
在海州收(石政八子口华别品 WI元州)	1-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Yokoyama, Izumi, Naomi Kodama, Yoshio Higuchi	51
2.論文標題	5 . 発行年
Inequality through wage response to the business cycle-Evidence from the FFL decomposition	2019年
method	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of The Japanese and International Economies	87-98
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jjie.2018.12.002	有
* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
オープンアクセス	国際共著
	国际六省
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<del>-</del>
***	
1.著者名	4 . 巻
Kozo Kiyota, Toshiyuki Matsuura, Yoshio Higuchi	Volume 53, No. 3
2.論文標題	5.発行年
Multinationals, Intrafirm Trade, and Employment Volatility	2020年
multinationals, intraffilm frade, and emproyment volatifity	20204
0. 1844.61	C 871.84.55
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Canadian Journal of Economics	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
6 U	Ħ
+ 1,74-7	国際共革
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Miwako Nagasu, Kazutaka Kogi, Isamu Yamamoto	19:1759
mirato ragada, nazutana nogi, isama iamanoto	.3.1100
2 *A-2-1#18	F 384= F
2.論文標題	5 . 発行年
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions:	2019年
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study	2019年
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study  3. 雑誌名	
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study	2019年
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study  3. 雑誌名	2019年
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study 3.雑誌名 BMC Public Health	2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study  3.雑誌名 BMC Public Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study  3.雑誌名 BMC Public Health	2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study  3.雑誌名 BMC Public Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study  3.雑誌名 BMC Public Health  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study  3.雑誌名 BMC Public Health 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Association of socioeconomic and lifestyle-related risk factors with mental health conditions: a cross-sectional study  3.雑誌名 BMC Public Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無

1.著者名	1
	4.巻
山本勲・大谷広伸・後藤晋太郎・齊籐啓太・都築健太郎	14(2)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2.論文標題	5.発行年
・ 調え	2019年
示性の天池が治角性の人以及につんる影響	20194
D 1854-67	て 目知し目然の五
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本禁煙学会雑誌	44-50
曷載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	査読の有無
なし	無
	AN.
ナープンアクセス	国際共著
	国际六省
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u> </u>
	T
. 著者名	4 . 巻
山本勲	702
. 論文標題	5.発行年
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
<b>測で刀渕建広による伎吁间力側走止の刈未</b>	2019年
ADAL 5	
<b>3.雑誌名</b>	6.最初と最後の頁
日本労働研究雑誌	29-39
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
<b>4</b> U	***
ープンアクセス	国際 世 茎
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1. 著者名	4.巻
山本勲・黒田祥子	19-J-012
	5.発行年
AIなどの新しい情報技術の利用と労働者のウェルビーイング:パネルデータを用いた検証	2019年
5.雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Discussion Paper Series	1-28
·	
  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無無
なし	無
- - - プンアクセス	
なし	無
<b>ロープンアクセス</b>	無
ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
でし ・ プンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) ・ 著者名	国際共著 - 4.巻
なし ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
でプンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto	無 国際共著 - 4.巻 20(5)
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto	無 国際共著 - 4.巻 20(5) 5.発行年
で ・ ・ ・ ・ 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto	無 国際共著 - 4.巻 20(5)
・ プンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto  . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 20(5) 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto  2. 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?	無 国際共著 - 4.巻 20(5) 5.発行年 2019年
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto . 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health? . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 20(5) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
マープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto . 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?	無 国際共著 - 4.巻 20(5) 5.発行年 2019年
ボープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto  . 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?  . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 20(5) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto 2. 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health? 3. 雑誌名 Journal of Happiness Studies	無 国際共著 - 4 . 巻 20(5) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1519-1538
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto  2 . 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?  3 . 雑誌名 Journal of Happiness Studies	無 国際共著 - 4 . 巻 20(5) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1519-1538
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto  2. 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?  3. 雑誌名 Journal of Happiness Studies	無 国際共著 - 4 . 巻 20(5) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1519-1538
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto  2 . 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?  3 . 雑誌名 Journal of Happiness Studies	無 国際共著 - 4 . 巻 20(5) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1519-1538
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto  2 . 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?  3 . 雑誌名 Journal of Happiness Studies  日載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10902-018-0008-x	無 国際共著 - 4 . 巻 20(5) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1519-1538 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sachiko Kuroda, Isamu Yamamoto  2 . 論文標題 Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?  3 . 雑誌名 Journal of Happiness Studies	無 国際共著 - 4 . 巻 20(5) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1519-1538

1.著者名	4 . 巻
山本勲・黒田祥子	19-J-022
2 - 全人士 + 新田	r 翌/二左
2 . 論文標題	5 . 発行年
長時間労働是正と人的資本投資との関係	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Discussion Paper Series	1-32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<i>A</i> 0	<del>////</del>
	C Shire I I at the
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 *** ** 47	4 34
1. 著者名	4 . 巻
黒田祥子・山本勲	28(1)
2 . 論文標題	5
	5 . 発行年
働き方、健康、生産性との関係 ~労働生産性の経済学指標の検討	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
産業精神保健	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カープラブラビスではない、人はカープラブラビスが回転	_
	T
1.著者名	4 . 巻
黒田祥子・山本勲	19-P-004
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
2 *A-Y-1#17	F 78/-/T
2.論文標題	5.発行年
労働者の健康向上に必要な政策・施策のあり方:労働経済学研究を踏まえた論考	2019年
2、株社夕	6 是知と是後の百
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 RIETI Policy Discussion Paper Series	6.最初と最後の頁 1-29
RIETI Policy Discussion Paper Series	1-29
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1-29 査読の有無
RIETI Policy Discussion Paper Series	1-29
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1-29 査読の有無
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	1-29 査読の有無 無
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-29 査読の有無
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	1-29 査読の有無 無
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-29 査読の有無 無
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-29 査読の有無 無
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	1-29 査読の有無 無 国際共著 -
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	1-29 査読の有無 無 国際共著
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y	1-29 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6(2)
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	1-29 査読の有無 無 国際共著 -
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y  2 . 論文標題	1-29 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6(2) 5 . 発行年
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y  2 . 論文標題 A comparative analysis of children's time use and educational achievement: Assessing evidence	1-29 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6(2)
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-29
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-29 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6(2) 5 . 発行年
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y  2 . 論文標題 A comparative analysis of children's time use and educational achievement: Assessing evidence from China, Japan and the United States 3 . 雑誌名	1-29
RIETI Policy Discussion Paper Series 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-29
RIETI Policy Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-29
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y  2 . 論文標題 A comparative analysis of children's time use and educational achievement: Assessing evidence from China, Japan and the United States  3 . 雑誌名 Chinese Journal of Sociology	1-29     査読の有無 無
RIETI Policy Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	1-29
RIETI Policy Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y  2 . 論文標題 A comparative analysis of children's time use and educational achievement: Assessing evidence from China, Japan and the United States  3 . 雑誌名 Chinese Journal of Sociology	1-29
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y  2 . 論文標題 A comparative analysis of children's time use and educational achievement: Assessing evidence from China, Japan and the United States  3 . 雑誌名 Chinese Journal of Sociology	1-29     査読の有無 無
RIETI Policy Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y  2 . 論文標題 A comparative analysis of children's time use and educational achievement: Assessing evidence from China, Japan and the United States  3 . 雑誌名 Chinese Journal of Sociology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1177/2057150X20911871	1-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y  2 . 論文標題 A comparative analysis of children's time use and educational achievement: Assessing evidence from China, Japan and the United States  3 . 雑誌名 Chinese Journal of Sociology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2057150X20911871  オープンアクセス	1-29
RIETI Policy Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Nakamura R, Yamashita J, Akabayashi H, Tamura T, Zhou Y  2 . 論文標題 A comparative analysis of children's time use and educational achievement: Assessing evidence from China, Japan and the United States  3 . 雑誌名 Chinese Journal of Sociology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1177/2057150X20911871	1-29

1 . 著者名	4.巻
Akabayashi H, Nozaki K, Yukawa S, Li W	6(2)
O	F 361-7-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Gender differences in educational outcomes and the effect of family background: A comparative	2020年
perspective from East Asia	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Chinese Journal of Sociology	-
similar decimal of decisions,	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1177/2057150X20912581	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Akabayashi, H, Naoi, M	52
masayaoni, n, naoi, m	- <del>-</del>
2.論文標題	5.発行年
Subject variety and incentives to learn: Evidence from public high school admission policies in	2013 <del>11</del>
Japan	て 目知に目後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japan and The World Economy	-
世載於立のDOL(ごごね川ナブご-々ト韓則フ)	本芸の左毎
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.japwor.2019.100981	有
± =\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
大友翔一・金本祥平・山口洋介・橋上英宜・赤林英夫	64(7)
2.論文標題	5 . 発行年
医薬品需要の効率的時系列クラスタリング : 医薬品の需要予測に基づく,在庫量最適化と流通の非効率解	2019年
消に向け	•
11151 117	
	6 . 最初と最後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁 394-398
	6.最初と最後の頁 394-398
3.雑誌名	
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ	394-398
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ <b>曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b>	394-398 査読の有無
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ	394-398
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ <b>曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)</b> なし	394-398 査読の有無 無
3 . 雑誌名     オペレーションズ・リサーチ <b>曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b> なし オープンアクセス	394-398 査読の有無
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ <b>曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)</b> なし	394-398 査読の有無 無
3 . 雑誌名     オペレーションズ・リサーチ  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし オープンアクセス     オープンアクセスとしている(また、その予定である)	394-398 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 オペレーションズ・リサーチ <b>『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b> なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	394-398 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
3.雑誌名 オペレーションズ・リサーチ <b>『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b> なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	394-398 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 オペレーションズ・リサーチ <b>曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b> なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 赤林英夫・佐野晋平	394-398  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6号(通巻第141号)
3.雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 赤林英夫・佐野晋平  2.論文標題	394-398  査読の有無 無  国際共著 -  4 . 巻 6号(通巻第141号)  5 . 発行年
3.雑誌名 オペレーションズ・リサーチ <b>曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b> なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 赤林英夫・佐野晋平	394-398  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6号(通巻第141号)
3.雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 赤林英夫・佐野晋平  2.論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測	394-398  査読の有無 無  国際共著 -  4 . 巻 6号(通巻第141号)  5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 赤林英夫・佐野晋平  2.論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測	394-398  査読の有無 無  国際共著 -  4 . 巻 6号(通巻第141号)  5 . 発行年
3.雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 赤林英夫・佐野晋平  2.論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測	394-398  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 6号(通巻第141号)  5.発行年 2019年
3.雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 赤林英夫・佐野晋平  2.論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測  3.雑誌名	394-398  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6号(通巻第141号) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 赤林英夫・佐野晋平  2 . 論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測  3 . 雑誌名 フィナンシャル・レビュー	394-398  査読の有無 無  国際共著  -  4 . 巻 6号 (通巻第141号)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 5-23
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 赤林英夫・佐野晋平  2 . 論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測  3 . 雑誌名 フィナンシャル・レビュー	394-398  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6号(通巻第141号) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 赤林英夫・佐野晋平  2 . 論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測  3 . 雑誌名 フィナンシャル・レビュー	394-398  査読の有無 無  国際共著  -  4 . 巻 6号 (通巻第141号)  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 5-23
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 赤林英夫・佐野晋平  2 . 論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測  3 . 雑誌名 フィナンシャル・レビュー  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	394-398  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6号 (通巻第141号) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5-23  査読の有無
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 赤林英夫・佐野晋平  2 . 論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測  3 . 雑誌名 フィナンシャル・レビュー  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	394-398  査読の有無 無  国際共著 - 4・巻 6号(通巻第141号) 5・発行年 2019年 6・最初と最後の頁 5-23  査読の有無 無
3 . 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 赤林英夫・佐野晋平  2 . 論文標題 校長が在籍児童生徒のアウトカムに与える効果の統計的計測  3 . 雑誌名 フィナンシャル・レビュー 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	394-398  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 6号 (通巻第141号) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5-23  査読の有無

1.著者名	4 . 巻
山口一大・敷島千鶴・星野崇宏・繁桝算男・赤林英夫	90(4)
2.論文標題	c
2 : 調又標題 小学1年生から中学3年生を対象とした学力テストの垂直尺度化	5 . 発行年 2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
心理学研究	408-418
O-2-TWI/U	400 410
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.4992/jjpsy.90.18221	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
赤林英夫	-
2 . 論文標題	5.発行年
教育資金贈与信託制度の認知や利用と家庭内教育支出や学力との統計的関連	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Keio-IES Discussion Paper	-
	*** o + **
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
制村康平 	4 · 중 275
	5.発行年
2019年年金財政検証とその課題	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
生活経済政策	6-13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
1.著者名	4.巻
駒村康平	97(31)
2.論文標題	5.発行年
2040年の社会保障を考える老後2000 万円報告書が目指したもの (上)	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
エコノミスト	40-41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
掲載論又のDOT(テンタルオフシェクト識別子)   なし	質読の有無無無
オープンアクセス   オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
駒村康平	59(1)
551526	,
	5.発行年
加齢が金融市場に与える影響: Cognitive Aging の時代と金融ジェンロントロジーの可能性	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
証券レビュー	30-54
一世がレビュー	30-34
掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	···
オープンアクセス	国際共著
	当际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4.巻
	53(6)
· 海州作》(京 十	33(0)
2 . 論文標題	5 . 発行年
加齢に伴う認知機能の低下が経済、資産選択に与える影響と金融ジェロントロジーの貢献	2019年
The state of the s	
2 株社夕	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
作業療法ジャーナル	573-578
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	,
1.著者名	4 . 巻
駒村康平・渡辺久里子	70(8)
2 . 論文標題	5 . 発行年
公的年金の給付額の動向と政策効果	2019年
ム的年金の船門領の割門と成果効果	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 統計	6.最初と最後の頁 50-53
統計	50-53
統計 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	50-53 査読の有無
統計	50-53
統計 掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	50-53 査読の有無
統計 掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	50-53 査読の有無 無
統計 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	50-53 査読の有無
統計 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	50-53 査読の有無 無
統計   掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし   オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	50-53 査読の有無 無 国際共著
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53 査読の有無 無
<ul><li>統計</li><li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li><li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li><li>1.著者名</li></ul>	50-53 査読の有無 無 国際共著 -
統計   掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし   オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	50-53 査読の有無 無 国際共著
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2)
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2)
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年 2019年
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年 2019年
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li> <li>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 駒村康平</li> <li>2 . 論文標題 高齢化社会の課題と金融ジェロントロジーの今後の役割</li> <li>3 . 雑誌名 個人金融</li> </ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 2-10
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 2-10  査読の有無
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li> <li>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 駒村康平</li> <li>2 . 論文標題 高齢化社会の課題と金融ジェロントロジーの今後の役割</li> <li>3 . 雑誌名 個人金融</li> </ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 2-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	を
<ul> <li>統計</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	50-53  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 14(2) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 2-10  査読の有無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	を

	. 24
1. 著者名	4 . 巻
駒村康平	32(6)
2.論文標題	5 . 発行年
中間層の現状と未来:失われた社会保障の機能強化の実現を	2019年
Hall was New York of the Land with the Manual Control of the Contr	20.0 (
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
DIO: 連合総研レポート	4-9
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
7 7777 EXCOCKIO (\$72, CO) 12 COO)	
4 ***	4 24
1 . 著者名	4 . 巻
駒村康平	70(31)
2.論文標題	5 . 発行年
変化する公的年金の役割と課題:マクロ経済スライドが団塊ジュニア世代に直撃、問われる老後の対策	2019年
又し,シムルナーセン区的に外域・トノロボガハフェールでがフェールには手,向1/16分名後の方法	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
金融財政事情	24-28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
•	<b>A.</b>
オープンアクセス	国際共著
	国际共 <b>有</b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
***	
1.著者名	4 . 巻
Hiroaki Niikura & Miki Seko	14
2.論文標題	5 . 発行年
The effect of inside and outside female directors on firm performance: comparison of the First	2020年
	2020-
section, Second section, Mothers, and Jasdaq in the Tokyo Stock Exchange Market	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	0.取例と取役の貝
International Journal of Economic Policy Studies	
the state of the s	123-166
	123-166
	123-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	123-166 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x	査読の有無   有
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x	査読の有無   有
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス	査読の有無   有
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 有 国際共著 -
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida  2 . 論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida  2 . 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida 2 . 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests 3 . 雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida 2 . 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida 2 . 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests 3 . 雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida 2 . 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests 3 . 雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名  Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida  2 . 論文標題  Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests  3 . 雑誌名  SSRN Working Paper	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida  2 . 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests  3 . 雑誌名 SSRN Working Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida  2 . 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests  3 . 雑誌名 SSRN Working Paper	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida  2 . 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests  3 . 雑誌名 SSRN Working Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2139/ssrn.3496105	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-52 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42495-019-00025-x  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Miki Seko, Kazuto Sumita, Jiro Yoshida  2 . 論文標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests  3 . 雑誌名 SSRN Working Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 ssrn.3496105 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-52

1.著者名	4 . 巻
瀬古美喜	70 (22)
2 - 5公子 + 新田	r 翌/二左
2 . 論文標題	5 . 発行年
わが国の住宅価格形成メカニズムと住宅金融制度の方向性	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
週刊金融財政事情	34-37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
άU	無
40	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
隅田和人・瀬古美喜・吉田二郎	27 (3)
2 . 論文標題	5.発行年
遺産動機と家計の転居・改修行動 -パネルデータによる分析-	2019年
- 超圧到/放∟外₁  V/平4/店・LX 1≥1   1月到 - ハイルノーフによる刀削 -	2019+
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
土地総合研究 2019年夏号	57-64
	". ".
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<u> </u>	<b></b>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 777 7 27(20 17/0 (0/12) 17/2 17/2 17/2	
	4 . 巻
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki,	4.巻
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki	9
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki,	
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2 . 論文標題	9 5 . 発行年
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki	9
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain	9 5.発行年 2019年
1.著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2.論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain 3.雑誌名	9 5 . 発行年
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain	9 5.発行年 2019年
1.著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2.論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain 3.雑誌名	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1.著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2.論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain 3.雑誌名	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain 3 . 雑誌名 Scientific Reports	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain 3 . 雑誌名 Scientific Reports	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-19
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki 2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体  3 . 雑誌名	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体  3 . 雑誌名	9 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 12 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体  3 . 雑誌名 行動経済学	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 75-86
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体  3 . 雑誌名 行動経済学	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 75-86
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体  3 . 雑誌名 行動経済学と共同体  3 . 雑誌名 行動経済学	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 75-86
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体  3 . 雑誌名 行動経済学	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 75-86
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体  3 . 雑誌名 行動経済学  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11167/jbef.12.75	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 75-86 査読の有無 有
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体  3 . 雑誌名 行動経済学と共同体  3 . 雑誌名 行動経済学	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 75-86
1 . 著者名 Kenta Wakaizumi, Rami Jabakhanji, Naho Ihara, Shizuko Kosugi, Yuri Terasawa, Hiroshi Morisaki, Masao Ogaki, Marwan N Baliki  2 . 論文標題 Altered Functional Connectivity Associated with Time Discounting in Chronic Pain  3 . 雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44497-5  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 大垣昌夫・大竹文雄  2 . 論文標題 規範行動経済学と共同体  3 . 雑誌名 行動経済学  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11167/jbef.12.75	9 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 75-86 査読の有無 有

1 . 著者名	4 . 巻
Kaori Sato, Sachiko Kuroda and Hideo Owan	246
2.論文標題	5.発行年
Mental health effects of long work hours, night and weekend work, and short rest periods	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Social Science & Medicine	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
10.1016/j.socscimed.2019.112774	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
鶴光太郎・久米功一・佐野晋平・安井健悟	19-P-035
2 . 論文標題	5 . 発行年
学校や職場での教育訓練、スキルの実態に関する研究 RIETI 「全世代的な教育・訓練と認知・非認知能力に関するインターネット調査」から	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Policy Discussion Paper	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
<b>な</b> し	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
鶴光太郎	19-P-023
2 . 論文標題	5.発行年
新たなテクノロジーは働き方をいかに変えるか AI時代に向けた展望	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Policy Discussion Paper	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
\$U	<b>#</b>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
久米功一・鶴光太郎・佐野晋平・安井健悟	19-J-002
2 . 論文標題	5 . 発行年
定年後の雇用パターンとその評価 - 継続雇用者に注目して	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Discussion Paper	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
<u>なし</u>	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

1 . 著名名 佐野音平 女井健恒・久米功一・飲光大郎 2 . 論文模語 (大学カーマンスの実証分析 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3 . 解試 (大学 アンファクセスではない、又はオーブンアクセスが国難 2 . 無限 (大学 アンアクセスではない、又はオーブンアクセスが国難 2 . 無限 (大学 アンアクセスではない、又はオーブンアクセスが国難 2 . 無限 (大学 アンアクセスではない、又はオーブンアクセスが国難 2 . 無限 (大学 アンアクセスが国難 2		
2. 論文権語 2. 論文権語 3. 権法名 REIT Discussion Paper 3. 権法名 REIT Discussion Paper 4. 元ブンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 発行年 2019年 1. 著者名 REIT Policy Discussion Paper 2. 論文権語 3. 機法名 REIT Policy Discussion Paper 4. 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	1.著者名	│ 4.巻
2 : 前次博館 転動 - 興動と従業員のバフォーマンスの実証分析 3 : 利証名 RIETI Discussion Paper		
<ul> <li>転誌名         RIETI Discussion Paper</li> <li>3. 稀誌名         RIETI Discussion Paper</li> <li>6. 景初と最後の育ったなし         ま述の有無         無</li></ul>	IN IN IN ACTION	1
<ul> <li>転誌名         RIETI Discussion Paper</li> <li>3. 稀誌名         RIETI Discussion Paper</li> <li>6. 景初と最後の育ったなし         ま述の有無         無</li></ul>	0. 44.4.15.05	= 7v./= <del>/=</del>
3 : 利証名 RIETI Discussion Paper		
RIETI Discussion Paper	転勤・異動と従業員のパフォーマンスの実証分析	2019年
RIETI Discussion Paper		
RIETI Discussion Paper	2 145+47	6 見知し目然の百
指数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		6.最例と最後の貝
指数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	RIETI Discussion Paper	-
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難 日本の雇用システムの再構築:総論 5.発行年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3.経験2 2.論文標題 日本の雇用システムの再構築:総論 5.発行年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3.経験2 2.論文標題 4.巻 - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難 4. 著名名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 2.論文標語 認知能力と非認知能力による資金への影響 5.発行年 2020年		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難 日本の雇用システムの再構築:総論 5.発行年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3.経験2 2.論文標題 日本の雇用システムの再構築:総論 5.発行年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3.経験2 2.論文標題 4.巻 - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難 4. 著名名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 2.論文標語 認知能力と非認知能力による資金への影響 5.発行年 2020年		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難 日本の雇用システムの再構築:総論 5.発行年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3.経験2 2.論文標題 日本の雇用システムの再構築:総論 5.発行年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3.経験2 2.論文標題 4.巻 - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難 4. 著名名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 2.論文標語 認知能力と非認知能力による資金への影響 5.発行年 2020年		
1 著名名	掲載論乂のDOT(ナンタルオノシェクト識別子)	貧読の有無
1 著名名	요.	無
1 著名名		<b>A</b>
1 著名名	+	<b>国際共</b> 芸
1 ・著書名		
1 ・著書名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
88.光太郎 19-P-008 2 . 論文標題 5 . 発行年 2019年 3 . 破誌名 7 . 元ブンアクセス		<b>!</b>
88.光太郎 19-P-008 2 . 論文標題 5 . 発行年 2019年 3 . 破誌名 7 . 元ブンアクセス	. ***	. 24
2 . 論文標題 日本の雇用システムの再構築: 総論 3 . 雑誌名 RIETT Policy Discussion Paper 3 . 雑誌名 安井健情・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 4 . 巻 安井健情・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 5 . 発行年 2009年 6 . 最初と最後の頁 土	1.者者名	4. 巻
2 . 論文標題 日本の雇用システムの再構築:総論	鶴光太郎	19-P-008
日本の雇用システムの再構築:総論       2019年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし       重読の有無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名       4 . 巻         安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎       5 . 発行年         2 . 論文標題 認知能力による賃金への影響       5 . 発行年         3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper       6 . 最初と最後の頁         根職論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし       重読の有無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻         1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo       4 . 巻         2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey       5 . 発行年 10200年         3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series       6 . 最初と最後の頁 2020年         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし       重読の有無         本ープンアクセス       国際共著		
日本の雇用システムの再構築:総論       2019年         3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし       重読の有無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名       4 . 巻         安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎       5 . 発行年         2 . 論文標題 認知能力による賃金への影響       5 . 発行年         3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper       6 . 最初と最後の頁         根職論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし       重読の有無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻         1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo       4 . 巻         2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey       5 . 発行年 10200年         3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series       6 . 最初と最後の頁 2020年         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし       重読の有無         本ープンアクセス       国際共著	- AA-LIEUT	= 7V./= h=
3 . 雑誌名 RIETT Policy Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 2 . 論文標題 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  増載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo 2 . 論文標題 1 . 光行年 2020年 3 . 雑誌名 Rieti Policy Discussion Paper	·····	5.発行年
3 . 雑誌名 RIETT Policy Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 2 . 論文標題 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  増載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo 2 . 論文標題 1 . 光行年 2020年 3 . 雑誌名 Rieti Policy Discussion Paper	日本の雇用システムの再構築:総論	2019年
RIETI Policy Discussion Paper   -	The state of the s	
RIETI Policy Discussion Paper   -	2 1944	C = 171 = 1/2 = 7
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著名名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 2 . 論文標題		6.最初と最後の負
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著名名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 2 . 論文標題	RIETI Policy Discussion Paper	_
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
### オープンアクセス	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 番者名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎 2 論文標題 認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 雑誌名 RIETI Discussion Paper  第載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 番者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  「最勤論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  「最勤論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  「最勤論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  「最勤論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  「最勤論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  「国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1. 著者名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎       5. 発行年 2020年         2. 論文標題 認知能力と非認知能力による賃金への影響       6. 最初と最後の頁 - ***         3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper       6. 最初と最後の頁 - ***         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       国際共著 - ***         1. 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo       4. 巻 - ***         2. 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series       6. 最初と最後の頁 - ***         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	<i>'</i> &∪	***
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1. 著者名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎       5. 発行年 2020年         2. 論文標題 認知能力と非認知能力による賃金への影響       6. 最初と最後の頁 - ***         3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper       6. 最初と最後の頁 - ***         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       国際共著 - ***         1. 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo       4. 巻 - ***         2. 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series       6. 最初と最後の頁 - ***         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1. 著者名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎       5. 発行年 2020年         2. 論文標題 認知能力と非認知能力による賃金への影響       6. 最初と最後の頁 - ***         3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper       6. 最初と最後の頁 - ***         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       国際共著 - ***         1. 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo       4. 巻 - ***         2. 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series       6. 最初と最後の頁 - ***         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	オーブンアクセス	国際共著
1 . 著者名 安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎       4 . 巻 -         2 . 論文標題 認知能力と非認知能力による賃金への影響       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper       6 . 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 -         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo       4 . 巻 -         2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey       5 . 発行年 -         3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series       6 . 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	オープンアクヤスではない、又はオープンアクヤスが闲難	_
安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎       -         2 . 論文標題 認知能力と非認知能力による賃金への影響       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper       6 . 最初と最後の頁         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著         1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo       4 . 巻         2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series       6 . 最初と最後の頁         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	コープランプ これではなべ 人間の フランプ これが 田本	1
安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光太郎       -         2 . 論文標題 認知能力と非認知能力による賃金への影響       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper       6 . 最初と最後の頁         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著         1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo       4 . 巻         2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series       6 . 最初と最後の頁         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著	. #46	
2 . 論文標題	1.者者名	4. 惷
2 . 論文標題	安井健悟・佐野晋平・久米功一・鶴光大郎	-
認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  ###################################		
認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  ###################################		
3.雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2.論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オーブンアクセス  国際共著	· ^ -^	5 38/- F
3.雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2.論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オーブンアクセス  国際共著	·····	
RIETI Discussion Paper	·····	
RIETI Discussion Paper	·····	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	認知能力と非認知能力による賃金への影響	2020年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	認知能力と非認知能力による賃金への影響 3.雑誌名	2020年
無 カープンアクセス 国際共著 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
無 カープンアクセス 国際共著 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
無 カープンアクセス 国際共著 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
無 カープンアクセス 国際共著 カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 .雑誌名 RIETI Discussion Paper	2020年 6.最初と最後の頁 -
オープンアクセス    国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 .雑誌名 RIETI Discussion Paper	2020年 6.最初と最後の頁 -
### A - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo 5 . 発行年 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey 5 . 発行年 2020年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 特職論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 変し 無 無 オープンアクセス 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
### A - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo 5 . 発行年 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey 5 . 発行年 2020年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 特職論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 変し 無 無 オープンアクセス 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  本プンアクセス  国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  本プンアクセス  国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo - 1	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo - 1	<ul> <li>認知能力と非認知能力による賃金への影響</li> <li>3 . 雑誌名         RIETI Discussion Paper</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし</li> <li>オープンアクセス</li> </ul>	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo - 1	<ul> <li>認知能力と非認知能力による賃金への影響</li> <li>3 . 雑誌名         RIETI Discussion Paper</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし</li> <li>オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> </ul>	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  本プンアクセス  国際共著	<ul> <li>認知能力と非認知能力による賃金への影響</li> <li>3.雑誌名         RIETI Discussion Paper</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無 国際共著
Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  第二十プンアクセス  国際共著	<ul> <li>認知能力と非認知能力による賃金への影響</li> <li>3.雑誌名         RIETI Discussion Paper</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス</li></ul>	2020年 6.最初と最後の頁
Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  第二十プンアクセス  国際共著	<ul> <li>認知能力と非認知能力による賃金への影響</li> <li>3.雑誌名         RIETI Discussion Paper</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	2020年 6.最初と最後の頁
Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  第二十プンアクセス  国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo	2020年 6.最初と最後の頁 - - - - 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 -
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         Keio-IES Discussion Paper Series       -         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo	2020年 6.最初と最後の頁 - - - - 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 -
Keio-IES Discussion Paper Series       -         掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題	2020年 6.最初と最後の頁
Keio-IES Discussion Paper Series       -         掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         なし       無         オープンアクセス       国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題	2020年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey	2020年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
なし 無 オープンアクセス 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
なし 無 オープンアクセス 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 -  4.巻 - 5.発行年 2020年
なし 無 オープンアクセス 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 -  4.巻 - 5.発行年 2020年
なし 無 オープンアクセス 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series	2020年 6.最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series	2020年 6.最初と最後の頁
	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3.雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2.論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無
	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3.雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2.論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2020年 6.最初と最後の頁
IN     IN       IN	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2020年 6.最初と最後の頁
	認知能力と非認知能力による賃金への影響  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Gabriel Felbermayr and Toshihiro Okubo  2 . 論文標題 Individual Preference on Trade Liberalization: Evidence from a Japanese Household Survey  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし  オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁

1.著者名	4 <del>*</del>
Toshihiro Okubo, Daiju Narita, Katrin Rehdanz and Carsten Schroeder	4.巻   -
	- 74 (- 1-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Preferences for nuclear power in post-Fukushima Japan: Evidence from a large nationwide	2020年
household survey	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Keio-IES Discussion Paper Series	-
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
40	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	該当する
3 77 7 27(23 27) 2 (37) 2 (37)	W1,3
1 . 著者名	4 . 巻
Felbermayr, G., Kimura, F., Okubo, T., & Steininger, M	51
remember may i, G., Kimura, F., Okubo, I., & Steffinger, W	31
2 . 論文標題	5.発行年
	2019年
Quantifying the EU-Japan Economic Partnership Agreement.	2019#
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	110-128
Journal of the Japanese and International Economies	110-120
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jjie.2018.12.007	有
10.1010/j.jj10.2010.12.00/	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
3 2 2 2 2 CH CHA CALL 2 2 2 2 2 2 CH CHA CALL	1 1 1 1
1 . 著者名	4 . 巻
Juko Ando, Keiko K. Fujisawa, Kai Hiraishi, Chizuru Shikishima, et al.	22
outo Ando, Kerko K. Fuji Sawa, Kari III arishi, Oli Zuru Oli Kishima, et ar.	
2.論文標題	r 整仁左
	5 . 発行年 2019年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)	2019年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)	2019年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3 . 雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)	2019年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3 . 雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3 . 雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3 . 雑誌名 Twin Research and Human Genetics	2019年 6 . 最初と最後の頁 591-596
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109	2019年 6.最初と最後の頁 591-596 査読の有無 有
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 591-596 査読の有無
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109	2019年 6.最初と最後の頁 591-596 査読の有無 有
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 591-596 査読の有無 有
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 591-596 査読の有無 有
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 石川 武・敷島千鶴	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 -
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 石川 武・敷島千鶴 2.論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 石川 武・敷島千鶴	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 -
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 石川 武・敷島千鶴  2.論文標題 二分法思考傾向と質問紙におけるレスポンス・スタイルとの関連の検討	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2020年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 石川 武・敷島千鶴  2.論文標題 二分法思考傾向と質問紙におけるレスポンス・スタイルとの関連の検討  3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 石川 武・敷島千鶴  2.論文標題 二分法思考傾向と質問紙におけるレスポンス・スタイルとの関連の検討	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2020年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3 . 雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川 武・敷島千鶴  2 . 論文標題 二分法思考傾向と質問紙におけるレスポンス・スタイルとの関連の検討  3 . 雑誌名 パーソナリティ研究	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2020年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 石川 武・敷島千鶴  2.論文標題 二分法思考傾向と質問紙におけるレスポンス・スタイルとの関連の検討  3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2020年
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3 . 雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 石川 武・敷島千鶴  2 . 論文標題 二分法思考傾向と質問紙におけるレスポンス・スタイルとの関連の検討  3 . 雑誌名 パーソナリティ研究	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 石川 武・敷島千鶴  2.論文標題 二分法思考傾向と質問紙におけるレスポンス・スタイルとの関連の検討  3.雑誌名 パーソナリティ研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Psychosocial Twin Cohort Studies in Japan: The Keio Twin Research Center (KoTReC)  3.雑誌名 Twin Research and Human Genetics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/thg.2019.109  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 石川 武・敷島千鶴  2.論文標題 二分法思考傾向と質問紙におけるレスポンス・スタイルとの関連の検討  3.雑誌名 パーソナリティ研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 591-596  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁

1.著者名	4 . 巻
岩田真一郎・隅田和人・藤澤美恵子	4 · 공 114
2 services	F 整仁左
2 . 論文標題 地理的市場占有率と不動産価格:東京都心10区からの証拠	5 . 発行年 2019年
3 . 雑誌名	 6.最初と最後の頁
住宅土地経済	20-27
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
山田篤裕	10(3)
2 . 論文標題	5 . 発行年
厚生年金保険適用拡大(2016年10月)による新たな賃金要件:既存の参照基準からの逸脱と低賃金雇用者 の排除	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
社会政策	39-52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Terai, Kimiko, Amihai Glazer	4 · 글 31
2.論文標題	5.発行年
Why Principals Tolerate Biases of Inaccurate Agents	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Economics and Politics	97-111
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/ecpo.12119	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
寺井公子	70
2 . 論文標題	5 . 発行年
補正予算とシーリング	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
経済研究	81-95
相 # * ^ ^ ^ ^ ^ ~ * ^ ^ ~ * ~ * ~ * ~ * ~ *	*#o##
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>

1.著者名	4 . 巻
Mitsuru Iwamura, Yukinobu Kitamura, Tsutomu Matsumoto and Kenji Saito	60 (1)
and the state of t	、 /
2	F 整件
2.論文標題	5.発行年
"Can We Stabilize the Price of a Cryptocurrency?: Understanding the Design of Bitcoin and Its	2019年
Potential to Compete with Central Bank Money"	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Hitotsubashi Journal of Economics	41-60
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.15057/30361	有
	· -
オープンアクセス	国際共著
=	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>
* 1.5	
1.著者名	4 . 巻
北村行伸	14(1)
2 . 論文標題	5.発行年
·····	
世代間資産移転の実態と政策課題	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
季刊 個人金融	13-22
→ 1:3 旧1/7本版文	13-22
引載論文のDOⅠ(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<sup>-</sup> ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	71(1)
אונוניזטא	(1)
AA . 1870	
2 . 論文標題	5 . 発行年
生活水準の概念と計測の再検討	2020年
	'
) hb÷t-々	6 早知レ星後の百
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
経済研究	102-122
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
*************************************	и <del>ж</del>
1 . 著者名	4.巻
Yokoyama, Izumi, Naomi Kodama, and Yoshio Higuchi	51
2 . 論文標題	5.発行年
	2019年
Inequality through wage response to the business cycle-Evidence from the FFL decomposition	Z019 <del>11</del>
method	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of The Japanese and International Economies	87-98
B 卦込み かり / デンカル ナイン・カー 幼のリフト	大芸の女領
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jjie.2018.12.002	有
	<u>'</u>
オープンアクセス	国際共著
	<b>国际不</b> 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

1.著者名	A
	4.巻
Yokoyama, Izumi, Naomi Kodama, and Yoshio Higuchi	49
2.論文標題	5.発行年
Effects of state-sponsored human capital investment on the selection of training type	2018年
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japan and the World Economy	40-49
Termina A	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.japwor.2018.07.003	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
	L
1 ***	4 . 巻
1. 著者名	4 . 仓
Sachiko Kuroda and Isamu Yamamoto	-
2.論文標題	5 . 発行年
Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?	2018年
, 25 . 55p. 5 overheld at the mod of imparing montal health.	20.01
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Happiness Studies	1-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s10902-018-0008-x	有
	13
オープンアクセス	国際共著
	<b>四</b> 隊六有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
	T
1.著者名	4.巻
Sachiko Kuroda and Isamu Yamamoto	48
2 論文煙題	5 発行年
	5 . 発行年
2 . 論文標題 Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan	5 . 発行年 2018年
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan	2018年
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan	2018年
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy	2018年 6 . 最初と最後の頁
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan 3 .雑誌名 Japan and the World Economy	2018年 6 . 最初と最後の頁 106-118
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 106-118 査読の有無
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy	2018年 6 . 最初と最後の頁 106-118
3.雑誌名 Japan and the World Economy 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002	2018年 6.最初と最後の頁 106-118 査読の有無 有
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 106-118 査読の有無
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002	2018年 6.最初と最後の頁 106-118 査読の有無 有
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有  国際共著
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3.雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2018年 6.最初と最後の頁 106-118 査読の有無 有
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有  国際共著
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 19-J-022
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022 5.発行年
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 19-J-022
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022 5.発行年 2019年
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022 5.発行年
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係  3 . 雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022 5.発行年 2019年
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係  3 . 雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-32
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-32  査読の有無
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-32
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-32  査読の有無 無
Good Boss, Bad Boss, Workers' Mental Health and Productivity: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 Japan and the World Economy  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.japwor.2018.08.002  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 山本勲・黒田祥子  2 . 論文標題 長時間労働是正と人的資本投資との関係  3 . 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 106-118  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 19-J-022 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1-32  査読の有無

1.著者名	4 . 巻
山本勲・黒田祥子	19-J-012
#1/M /M#113	
2 - 全人士 #丽 周5	F 整体左
2 . 論文標題	5 . 発行年
AIなどの新しい情報技術の利用と労働者のウェルビーイング:パネルデータを用いた検証	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Discussion Paper Series	1-28
KIETI DISCUSSION FAPET SETTES	1-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4.0	,
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	当际六有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4.巻
黒田祥子・山本勲	19-P-004
<b>羔中行す・山平黙</b>	19-1-004
2.論文標題	5.発行年
労働者の健康向上に必要な政策・施策のあり方:労働経済学研究を踏まえた論考	2019年
The state of the s	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Policy Discussion Paper Series	1-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	1 4 <del>**</del>
	4 . 巻
山本勲	702
2.論文標題	5.発行年
働き方関連法による長時間労働是正の効果	2019年
<b>動と刀矧连仏による</b> で時間カ <b>側</b> 定正の効木	20194
101	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本労働研究雑誌	29-39
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
1, 7777 EXCOCKTO (&Z. CO) Z COO)	
1.著者名	1 . 24
山本勲	4 . 巻
<b>出</b> 个点	4 . 巻
штж	4 . 巻
	-
2.論文標題	5 . 発行年
	-
2.論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証	5 . 発行年
2.論文標題	5.発行年 2018年
2.論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証 3.雑誌名	5 . 発行年
2.論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証	5.発行年 2018年
2. 論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証 3. 雑誌名	5.発行年 2018年
2. 論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証 3. 雑誌名 スマートワーク経営研究会・中間報告書:働き方改革と生産性、両立の条件	- 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 -
2.論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証 3.雑誌名	5.発行年 2018年
2.論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証 3.雑誌名 スマートワーク経営研究会・中間報告書:働き方改革と生産性、両立の条件	- 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 -
2. 論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証 3. 雑誌名 スマートワーク経営研究会・中間報告書:働き方改革と生産性、両立の条件 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
2.論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証 3.雑誌名 スマートワーク経営研究会・中間報告書:働き方改革と生産性、両立の条件 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 無
2. 論文標題 上場企業における働き方改革と利益率 「スマートワーク経営調査」データを用いた検証 3. 雑誌名 スマートワーク経営研究会・中間報告書:働き方改革と生産性、両立の条件 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無

	. "
1 . 著者名	4 . 巻
伊達洋駆・山本勲	66(3)
o AA-LIEUT	= 7V./= h=
2 . 論文標題	5 . 発行年
A I は営業担当者の働き方をどのように変えるか	2018年
0. +0+4-5	6 84718467
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ー橋ビジネスレビュ <b>ー</b>	76-88
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
L = 2 \ L	C ON 11 ++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
山本勲	66(1)
0 AA-1-1777	= 7V./= \( \frac{1}{2} \)
2 . 論文標題	5.発行年
女性活躍を推進する働き方と企業業績	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
一橋ビジネスレビュ <b>ー</b>	30-43
	* * * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
+ +\	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. ***	1 . 14
1. 著者名	4.巻
山口一大,敷島千鶴,星野崇宏,繁桝算男,赤林英夫	90
2 *A-1-E-E-	5 38/- /-
2.論文標題	5.発行年
小学1年生から中学3年生を対象とした学力テストの垂直尺度化	2019年
つ かけ≐十夕	( 見知は見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
心理学研究	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	有
'& U	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<b>二</b>
ファンテンス CIN CIONOVI、 人ION コンファブ CIND 四元	
	4.巻
赤林英夫	21
M. LLVVV	
2 . 論文標題	5.発行年
2. 調え信題 政策評価のために必要なデータとは「日本子どもパネル調査」の経験から	2018年
以本川国グにグログダダブ ノこは 日平」このハヤル明旦」の註釈がつ	2010-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
社会と調査	11-19
ᄔᅭᄼᅳᄤᅽ	11-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
	<del>~~~</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
コーファット これ こいらい ハ へいコーフファノ 二八月 四年	

1.著者名	4 . 巻
<b>駒村康平</b>	通巻96号
2 · 冊又伝題   長寿社会と金融老年学の可能性(前編)	2018年
及分性会と金融をキチの引起性(前間)	20104
	6.最初と最後の頁
生活福祉研究	38-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
   オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス   オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国际共有
カープラファビスとしている(よた、とのアととのる)	
1.著者名	4 . 巻
No. 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	通券97号
9913461	
2.論文標題	5 . 発行年
長寿社会と金融老年学の可能性(後編)	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
生活福祉研究	34-43
<u></u>   掲載論文のDOI ( デジタルオプジェクト識別子 )	
15年以前又の2011(ナンタルオングエット・64万円)   なし	無
<i>6</i> 0	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
<b>駒村康平</b>	2018年8月号
A A LIEUT	- 7v./
2. 論文標題	5.発行年
長寿社会の課題と金融ジェロントロジー	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
う・クセルルレロ    証券アナリストジャーナル	6-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
   オープンアクセス	同 <b>附</b> +
オープファクセス   オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアグピスとはない、又はオープンアグピスが凶無	-
1.著者名	4 . 巻
	4 . 含 通巻277号2019年季刊 1 号
ו אמא כו כייי	252 522 137.13
2.論文標題	5 . 発行年
金融老年学の現在と今後期待される役割 Cognitive Aging の時代と金融ジェロントロジーの可能性	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
信託(信託協会)	31-57
<u></u> 掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	
均戦論文の00(プラグルタフジェクト部が丁)	重読の有無無
'& ∪	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
I The second of	

1.著者名	4 . 巻
駒村康平	2018.10.1
2.論文標題	5 . 発行年
金融機関のための金融老年学入門 第1回 フィナンシャル・ジェロントロジーとは	2018年
	6.最初と最後の頁
週刊金融財政事情	52-53
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし 	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
駒村康平	2018.10.8
2 . 論文標題	5.発行年
金融機関のための金融老年学入門 第2回 高齢社会における金融老年学の可能性	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
週刊金融財政事情	52-53
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
駒村康平	2018.10.15
2 . 論文標題	5 . 発行年
金融機関のための金融老年学入門 第3回 高齢者特有の意思決定プロセス	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
週刊金融財政事情	52-53
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1. 著者名	4 . 巻
駒村康平	2018.10.22-29
2.論文標題	5 . 発行年
金融機関のための金融老年学入門 第4回 高齢期における認知機能の変化と生活	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
週刊金融財政事情	68-69
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無
	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
駒村康平	2018.11.5
2.論文標題	5.発行年
金融機関のための金融老年学入門 第5回 寿命の伸長と資産管理能力	2018年
・ 立版成例のための立版をキナバー お3回 ・	2010-
2 Mart of	て 見知に見後の百
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
週刊金融財政事情	52-53
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	A11
オープンアクセス	国際共著
	四际六有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
│ 1.著者名	4 . 巻
駒村康平	2018.11.12
601 Jak 1	
2.論文標題	5.発行年
·····	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
金融機関のための金融老年学入門 第6回 認知症と資産の高齢化	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
週刊金融財政事情	52-53
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
1.著者名	4 . 巻
	2018.11.19
<b>ありむり泉十</b>	2010.11.19
0 40 12 07	= 7V./= /=
2.論文標題	5 . 発行年
金融機関のための金融老年学入門 第7回 「老いる」資産	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
週刊金融財政事情	52-53
图1.3页图2014	02 00
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の左伽
	査読の有無
なし	
	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 駒村康平	国際共著 - 4.巻 2018.11.26
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 駒村康平	国際共著 - 4.巻 2018.11.26
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関	国際共著 - 4.巻 2018.11.26 5.発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関  3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関	国際共著 - 4.巻 2018.11.26 5.発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関  3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関  3 . 雑誌名 週刊金融財政事情	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-53
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関  3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関  3 . 雑誌名 週刊金融財政事情	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-53 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関  3 . 雑誌名 週刊金融財政事情	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-53
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関  3 . 雑誌名 週刊金融財政事情  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-53
オープンアクセス       オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 駒村康平         2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関         3 . 雑誌名 週刊金融財政事情         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-53 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融機関のための金融老年学入門 第8回・完 加齢行動経済学と研究機関  3 . 雑誌名 週刊金融財政事情	国際共著 - 4 . 巻 2018.11.26 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-53  査読の有無 無

- 444.4	
1. 著者名	4 . 巻
Vipul Bhatt and Masao Ogaki	24
2 . 論文標題	5.発行年
Worldviews and Tough Love Altruism	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Keio University-Institute for Economic Studies Discussion Paper	1-14
Note differently institute for Essiloning Studies Procession Lupel	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
- 1 · 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4 · 술   695
無山什 J ¯	030
2.論文標題	5.発行年
健康資本投資と生産性	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
日本労働研究雑誌	30-48
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	- -
1.著者名	4 . 巻
鶴 光太郎、久米功一	198
2.論文標題	5.発行年
夫の家事・育児参加と妻の就業決定-夫の働き方と役割分業意識を考慮した実証分析	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
経済分析	50-70
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
1.者看名 鶴 光太郎、久米功一、佐野晋平、安井健悟	4.を 11
2 . 論文標題	5 . 発行年
社会保障の給付負担に対する選択を決定する要因は何か-個人の意識の役割	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
行動経済学	54-74
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	   査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4.巻
鶴 光太郎、久米功一、佐野晋平、安井健悟	701
2 . 論文標題	5.発行年
無限定正社員と限定正社員の賃金格差	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本労働研究雑誌	67-81
다 수기를 되어 기가 되었다.	07-01
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	13
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · = · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
	51
Felbermayr, G., Kimura, F., Okubo, T., and Steininger	31
2 . 論文標題	5 . 発行年
Quantifying the EU-Japan Economic Partnership Agreement	2019年
The state of the same and the same and the same same same same same same same sam	
3.雑誌名	6 見知と見後の五
	6.最初と最後の頁
Journal of the Japanese and International Economies.	110-128
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jjie.2018.12.007	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
コープン・プログロのは、人間の プンデアログログ	1 10 10 10
4 ****	1 4 24
1.著者名	4 . 巻
Chizuru Shikishima, Kai Hiraishi, Yusuke Takahashi, Shinji Yamagata, Susumu Yamaguchi, & Juko	121
Ando	
2 . 論文標題	5.発行年
Genetic and environmental etiology of stability and changes in self-esteem linked to	2018年
personality: A Japanese twin study	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Personality and Individual Differences	140-146
reference the marvidual principles	טדו - טדו
	Í
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>   査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.paid.2017.09.013	   査読の有無   有
10.1016/j.paid.2017.09.013	有
10.1016/j.paid.2017.09.013 オープンアクセス	_
10.1016/j.paid.2017.09.013	有
10.1016/j.paid.2017.09.013 オープンアクセス	有
10.1016/j.paid.2017.09.013 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名	有
10.1016/j.paid.2017.09.013 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名	国際共著
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa	有 国際共著 - 4.巻 -
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa	有 国際共著 - 4.巻 -
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?  3 . 雑誌名 Spatial Economic Analysis	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?  3 . 雑誌名 Spatial Economic Analysis	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?  3 . 雑誌名 Spatial Economic Analysis	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?  3 . 雑誌名 Spatial Economic Analysis	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?  3 . 雑誌名 Spatial Economic Analysis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17421772.2019.1532596	有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 - -
10.1016/j.paid.2017.09.013  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shinichiro Iwata, Kazuto Sumita and Mieko Fujisawa  2 . 論文標題 Price competition in the spatial real estate market: Allies or rivals?  3 . 雑誌名 Spatial Economic Analysis	有 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -

1.著者名   Naoi, M., P. Tiwari, Y. Moriizumi, N. Yukutake, N. Hutchson, A. Kovlyakova and J. Rao	л <del>У</del> С
NaOI, W., F. IIWaII, I. WOIIIZUIII, N. TUKULAKE. N. HULCHSOH. A. KOVIVAKOVA AHU J. KAD	4.巻 12
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	12
2 . 論文標題	5.発行年
Lousehold Mortgage Demand: Role of Mortgage Market Institutions	2019年
Household workgage behalfu. Note of workgage warket Histitutions	20194
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Housing Markets and Analysis	110-130
International Journal of Housing Warkets and Analysis	110-130
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1108/IJHMA-03-2017-0029	有
10.1108/13HWA-03-2017-0029	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
カープンプラーに入てはない、人はカープンプラーに入り四年	飲当する
1 . 著者名	4 . 巻
	4 · 상 21
直井道生	21
2	F 発仁生
2. 論文標題	5 . 発行年
回帰不連続デザインによる実証分析	2018年
2 N++4	c = 171. = 14. 5 =
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
社会と調査	92-99
	査読の有無
なし	無
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
岩田真一郎・直井道生	109
2.論文標題	5 . 発行年
住宅価格の参照価格からの上昇と下落が出生行動に与える非対称な影響	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
季刊住宅土地経済	12-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし しょうしん しゅうしゅう しゅう	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
直井道生・佐藤慶一・永松伸吾・松浦広明	45
THE PROPERTY OF THE PROPERTY O	
	5 . 発行年
2.論文標題	
2 . 論文標題 南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析	
2 . 論文標題 南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析	2018年
南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析	2018年
南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析	2018年
南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析 3.雑誌名 New ESRI Working Paper	2018年 6.最初と最後の頁 1-36
南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析  3.雑誌名 New ESRI Working Paper 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 1-36 査読の有無
南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析 3.雑誌名 New ESRI Working Paper	2018年 6.最初と最後の頁 1-36
南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析  3.雑誌名 New ESRI Working Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 1-36 査読の有無 無
南海トラフ巨大地震による想定津波高と市区町村間人口移動の実証分析  3.雑誌名 New ESRI Working Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2018年 6.最初と最後の頁 1-36 査読の有無

1 . 著者名	4 . 巻
山田篤裕	10 (3)
2.論文標題 厚生年金保険適用拡大(2016年10月)による新たな賃金要件	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 社会政策	6.最初と最後の頁 39-52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Takaku, Reo and Shun-ichiro Bessho	4.巻 216
2.論文標題 Political cycles in physician employment: A case of Japanese local public hospitals.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Social Science & Medicine	6.最初と最後の頁 97-106
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.socscimed.2018.09.034	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	1 . w
1.著者名 Bessho, Shun-ichiro	4.巻 <sup>69(4)</sup>
2.論文標題 Child benefit, tax allowances, and behavioral responses: The case of Japanese reform, 2010-2011.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Japanese Economic Review	6 . 最初と最後の頁 478-501
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jere.12171	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4 . 巻
Bessho, Shun-ichiro and Yoko Ibuka	28(2)
2 . 論文標題 Interdependency in vaccination policies among Japanese municipalities.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Health Economics	6.最初と最後の頁 299-310
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hec.3845	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

	. 24
1.著者名	4 . 巻
Kimiko Terai, Amihai glazer	30
2 . 論文標題	5.発行年
Rivalry Among Agents Seeking Large Budgets	2018年
KIVALLY Among Agents Seeking Large budgets	20104
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Theoretical Economics	388-409
300 mar 31 may 31 mar 200 mm 30	355 155
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1177/0951629818791029	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
カープンプラと外ではない、人はカープンプラとスカ 四無	W 1 7 0
1 . 著者名	4 . 巻
Kimiko Terai, Amihai glazer	31
Killino Totar, Allinat grazor	
2.論文標題	5.発行年
Why Principals Tolerate Biases of Inaccurate Agents	2019年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Economics and Politics	97-111
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左無
	査読の有無
10.1111/ecpo.12119	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
The second second second second make	W-1/9
1 . 著者名	4.巻
北村行伸	69 (3)
2 . 論文標題	5.発行年
世代間資産移転と相続税	2018年
つ 株主々	6 早知に早後の百
3.雑誌名 経済研究	6.最初と最後の頁
## / L 10T カ	
WITH MILE	206-226
MIND WIND	
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	
	206-226
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	206-226 査読の有無 無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	206-226 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	206-226 査読の有無 無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	206-226 査読の有無 無 国際共著
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	206-226 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	206-226 査読の有無 無 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno	206-226 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 70(1)
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno 2 . 論文標題	206-226 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 70(1) 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno	206-226 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 70(1)
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno 2 . 論文標題 Income Tax Reforms and Redistribution by Age Group: Evidence from Japan	206-226 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 70(1) 5 . 発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno 2 . 論文標題 Income Tax Reforms and Redistribution by Age Group: Evidence from Japan 3 . 雑誌名	直読の有無 無 国際共著 - 4.巻 70(1) 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno 2 . 論文標題 Income Tax Reforms and Redistribution by Age Group: Evidence from Japan	206-226 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 70(1) 5 . 発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno 2 . 論文標題 Income Tax Reforms and Redistribution by Age Group: Evidence from Japan 3 . 雑誌名 The Japanese Economic Review	206-226  査読の有無 無 国際共著 - 4・巻 70(1) 5・発行年 2019年 6・最初と最後の頁 105-122
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno  2 . 論文標題 Income Tax Reforms and Redistribution by Age Group: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 The Japanese Economic Review  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	206-226
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno 2 . 論文標題 Income Tax Reforms and Redistribution by Age Group: Evidence from Japan 3 . 雑誌名 The Japanese Economic Review	206-226  査読の有無 無 国際共著 - 4・巻 70(1) 5・発行年 2019年 6・最初と最後の頁 105-122
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno  2 . 論文標題 Income Tax Reforms and Redistribution by Age Group: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 The Japanese Economic Review  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/jere.12178	直読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 70 (1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-122
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeshi Miyazaki, Yukinobu Kitamura and Taro Ohno  2 . 論文標題 Income Tax Reforms and Redistribution by Age Group: Evidence from Japan  3 . 雑誌名 The Japanese Economic Review  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	206-226

1.著者名	4 . 巻
樋口美雄・石井加代子・佐藤一磨	No.68(2)
2.論文標題 景気変動と世帯の所得格差 リーマンショック下の夫の所得と妻の就業	5 . 発行年 2017年
3.雑誌名 経済研究	6.最初と最後の頁 132-149
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
. ###	, W
1 . 著者名 樋口美雄・萩原里紗・野崎華世	4.巻 60(3)
2.論文標題 奨学金受給が高等教育機関卒業後の就業・所得に与える影響	5.発行年 2017年
3.雑誌名 三田商学研究	6.最初と最後の頁 59-86
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
	T . W
1 . 著者名 Yoshio Higuchi, Kayoko Ishii, Kazuma Sato	4.巻 Jan-52
2.論文標題 Changes in Household Income Inequality Over the Business Cycle: Husbands' Earnings and Wives' Labor Supply in Japan During the Global Financial Crisis.	5.発行年 2017年
3.雑誌名 Keio Business Review, The Society Of Business and Commerce Keio University	6.最初と最後の頁 1-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 樋口美雄	4.巻 691
2.論文標題 日本の労働市場の変質と非正規雇用の増加 同一労働同一賃金をめぐって	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 日本労働研究雑誌	6.最初と最後の頁 39-49
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

	Т
1 . 著者名	4 . 巻
山本勲	-
2.論文標題	5 . 発行年
企業における女性活躍の推進	2018年
止未にのける文化/古雄の仕進	20104
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
多様化する日本人の働き方 非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る	142-162
> WIT I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
	****
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1.著者名	4 . 巻
小林徹・山本勲・佐藤一磨	-
2.論文標題	5 . 発行年
ま正規雇用から正規雇用への転換と技術革新	2018年
¬₽エクルは円1/1 ンエクルほ□ ヾシンテムリ太C]メヤリ干柳	2010-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
多様化する日本人の働き方 非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る	19-45
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
19年1日 (リングルインシェット部が上)	直読の有無   無
40	<del></del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
山本勲・佐藤一磨・小林徹	-
2.論文標題	5.発行年
高齢者の失業が健康に及ぼす影響	2018年
回欧日ソ八未川   姓原に区はソ影音	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
多様化する日本人の働き方 非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る	230-245
The second secon	1.55 = 1.5
旧書やかのDOL(デジカルナイジーカー・地回フ)	本柱の左征
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	4.巻
1.著者名 黒田祥子・山本勲	-
1 . 著者名 黒田祥子・山本勲 2 . 論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 黒田祥子・山本勲	-
1 . 著者名 黒田祥子・山本勲 2 . 論文標題 メンタルヘルスをどう守る	5.発行年 2017年
1 . 著者名 黒田祥子・山本勲 2 . 論文標題 メンタルヘルスをどう守る	5 . 発行年
1 . 著者名 黒田祥子・山本勲 2 . 論文標題 メンタルヘルスをどう守る 3 . 雑誌名	5.発行年 2017年
1 . 著者名 黒田祥子・山本勲 2 . 論文標題 メンタルヘルスをどう守る 3 . 雑誌名 やさしい行動経済学	- 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 -
1 . 著者名         黒田祥子・山本勲         2 . 論文標題         メンタルヘルスをどう守る         3 . 雑誌名         やさしい行動経済学         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
1 . 著者名 黒田祥子・山本勲 2 . 論文標題 メンタルヘルスをどう守る 3 . 雑誌名 やさしい行動経済学	- 5.発行年 2017年 6.最初と最後の頁 -
1 . 著者名         黒田祥子・山本勲         2 . 論文標題         メンタルヘルスをどう守る         3 . 雑誌名         やさしい行動経済学         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 - で 査読の有無

1.著者名	4.巻
山本勲ほか	692
2 . 論文標題	5.発行年
学界展望:労働経済学研究の現在	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本労働研究雑誌	2-44
H. I. A. DER MILY COMPRES	
##給かのDOL / ごだり!! ナイバーり! 幼母!フン	本はの左仰
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カープンプラビへにはない、人はカープンプラビへが回転	
1.著者名	4 . 巻
山本勲	1
<del></del>	
ე <sup>소</sup> 수·本語	F 蒸汽车
2 . 論文標題	5.発行年
働き方改革の経済分析	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ビジネス法務	61-65
こンネス広情	01-00
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	_
1 . 著者名	4 . 巻
	7 · 6
	4
山本勲	1
山本勲	
	5 . 発行年
山本勲 2.論文標題	5.発行年
山本勲	
山本勲 2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果	5.発行年 2018年
山本勲 2.論文標題 働き方改革の必要性と効果 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
山本勲 2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果	5.発行年 2018年
山本勲 2.論文標題 働き方改革の必要性と効果 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
山本勲 2.論文標題 働き方改革の必要性と効果 3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
山本勲  2.論文標題 働き方改革の必要性と効果  3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39
山本勲         2. 論文標題 働き方改革の必要性と効果         3. 雑誌名 ビジネスレーバートレンド         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無
山本勲  2.論文標題 働き方改革の必要性と効果  3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39
山本勲         2.論文標題 働き方改革の必要性と効果         3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無
山本勲2.論文標題 働き方改革の必要性と効果3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無
山本勲         2.論文標題 働き方改革の必要性と効果         3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無
山本勲         2.論文標題 働き方改革の必要性と効果         3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無
山本勲         2.論文標題 働き方改革の必要性と効果         3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著
山本勲         2.論文標題 働き方改革の必要性と効果         3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著
山本勲         2.論文標題 働き方改革の必要性と効果         3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著
山本勲         2.論文標題 働き方改革の必要性と効果         3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年
山本勲  2.論文標題 働き方改革の必要性と効果  3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2.論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a Child Allowance Policy Reform in Japan	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年
山本勲  2.論文標題 働き方改革の必要性と効果  3.雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2.論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a Child Allowance Policy Reform in Japan  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a Child Allowance Policy Reform in Japan	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年
<ul> <li>山本勲</li> <li>2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果</li> <li>3 . 雑誌名 ビジネスレーバートレンド</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーパートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a Child Allowance Policy Reform in Japan  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-23
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a Child Allowance Policy Reform in Japan  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-23
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a Child Allowance Policy Reform in Japan  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-23
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーバートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a Child Allowance Policy Reform in Japan  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-23
山本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーパートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a Child Allowance Policy Reform in Japan  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-23
<ul> <li>山本勲</li> <li>2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果</li> <li>3 . 雑誌名 ビジネスレーパートレンド</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-23
出本勲  2 . 論文標題 働き方改革の必要性と効果  3 . 雑誌名 ビジネスレーパートレンド  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Michio Naoi, Hideo Akabayashi, Ryosuke Nakamura, Kayo Nozaki, Shinpei Sano, Wataru Senoh, Chizuru Shikishima  2 . 論文標題 Causal Effects of Family Income on Child Outcomes and Educational Spending: Evidence from a Child Allowance Policy Reform in Japan  3 . 雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-39 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 DP2017-026 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-23

<ol> <li>著名名 赤林英夫・野崎華世・湯川志保</li> <li>論文標題 日本における教育投資と教育成果の男女間格差:日本子どもパネル調査を用いた分析</li> <li>雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li></ol>	4 . 巻 DP2018-004  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 1-36  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 820  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 5-11
2. 論文標題         日本における教育投資と教育成果の男女間格差:日本子どもパネル調査を用いた分析         3. 雑誌名         Keio-IES Discussion Paper Series         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスとしている(また、その予定である)         1. 著者名 駒村康平         2. 論文標題金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー         3. 雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-36 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
日本における教育投資と教育成果の男女間格差:日本子どもパネル調査を用いた分析3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセスオープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 駒村康平2.論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 1-36  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 820 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
日本における教育投資と教育成果の男女間格差:日本子どもパネル調査を用いた分析3.雑誌名 Keio-IES Discussion Paper Series掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセスオープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 駒村康平2.論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 1-36  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 820 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名         Keio-IES Discussion Paper Series         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス         オープンアクセスとしている(また、その予定である)         1.著者名         駒村康平         2.論文標題         金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー         3.雑誌名	6.最初と最後の頁 1-36 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 820 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
Keio-IES Discussion Paper Series         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセスとしている (また、その予定である)         1 . 著者名 駒村康平         2 . 論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー         3 . 雑誌名	1-36 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Keio-IES Discussion Paper Series         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセスとしている (また、その予定である)         1 . 著者名 駒村康平         2 . 論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー         3 . 雑誌名	1-36 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) 1 . 著者名 駒村康平 2 . 論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー 3 . 雑誌名	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス         オープンアクセスとしている(また、その予定である)         1 . 著者名 駒村康平         2 . 論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー         3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス         オープンアクセスとしている(また、その予定である)         1 . 著者名 駒村康平         2 . 論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー         3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー  3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 駒村康平  2 . 論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
<ol> <li>著者名 駒村康平</li> <li>論文標題 金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー</li> <li>雑誌名</li> </ol>	820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
<ul><li>駒村康平</li><li>2.論文標題</li><li>金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー</li><li>3.雑誌名</li></ul>	820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
<ul><li>駒村康平</li><li>2.論文標題</li><li>金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー</li><li>3.雑誌名</li></ul>	820 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
<ul><li>2. 論文標題</li><li>金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー</li><li>3. 雑誌名</li></ul>	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
金融資産の高齢化とファイナンシャル・ジェロントロジー 3.雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
租税研究	5-11
IF THAT I ARE I SEE THE SEE TH	<u> </u>
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
3 プンプラとハではない、人は3 プンプラとハガ 回来	
1 . 著者名	4 . 巻
新倉博明・瀬古美喜	110
2.論文標題	5 . 発行年
取締役会における女性役員と企業パフォーマンスの関係	2017年
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
三田学会雑誌	1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
なし	無
	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
吉田二郎・瀬古美喜・隅田和人	106
0 *A-1-1707	77.7-1-
	· ·
甲逐解約可能な賃貸借契約の賃料期間構造	2017年
ナル はつエク╚錠/月	20-23
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
2. 論文標題         中途解約可能な賃貸借契約の賃料期間構造         3. 雑誌名         季刊 住宅土地経済         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 20-29 査読の有無

	4 24
1. 著者名	4 . 巻
Ito T., Iwata K., McKenzie C. & and Urata S.	13(1)
2.論文標題	5.発行年
Did Abenomics Succeed?: Editors' Overview	2018年
DIG ADDITION OF THE PROPERTY O	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Asian Economic Policy Review	1-22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/aepr.12215	無
t − プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- -
	-
1 . 著者名	4 . 巻
黒田祥子	22(3)
2. 論文標題	5.発行年
過重労働と労働生産性~経済学の視点から	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
健康開発	6. 販別と販後の負   16-21
ט ענדון אאן באן	10-21
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
・ ポンマクセフ	
tープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
カーノンアン ヒヘ こはない、 又はカーノンアン ヒヘル凶無	-
1.著者名	4.巻
黒田祥子・山本勲	2017(5)
1.論文標題	5 . 発行年
働きすぎの経済学	2017年
ስ <u>ት</u> ድት ላ7	
3.雑誌名 - 空会と健康	6.最初と最後の頁
安全と健康	74-75
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
- プンフタムフ	
tーブンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オーフファフ ヒヘ こはない、 又はカーフファフ ヒスか 凶無	
	4 . 巻
黒田祥子・山本勲	2017(8)
	_ = ====
.論文標題	5.発行年
. 論文標題 労働時間とメンタルヘルスの関係性	5.発行年   2017年
労働時間とメンタルヘルスの関係性	2017年
労働時間とメンタルヘルスの関係性 . 雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
労働時間とメンタルヘルスの関係性	2017年
労働時間とメンタルヘルスの関係性 . 雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
労働時間とメンタルヘルスの関係性 	2017年 6 . 最初と最後の頁 28-30
労働時間とメンタルヘルスの関係性         3.雑誌名         安全と健康         弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 28-30 査読の有無
労働時間とメンタルヘルスの関係性 	2017年 6 . 最初と最後の頁 28-30
3 . 雑誌名 安全と健康 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 28-30 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
久米功一・鶴 光太郎・佐野晋平・安井健悟	17-J-021
2.論文標題	5.発行年
2 · 調文係超 社会保障の給付負担に対する選択を決定する要因は何か - 個人の意識と教育の役割	2017年
	6.最初と最後の頁
RIETI Discussion Paper	-
MET Broadston raper	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
鶴 光太郎・久米功一・安井健悟・佐野晋平	18-P-006
2.論文標題	5 . 発行年
転勤・異動・定年の実態とそのインプリケーション - RIETI「平成29年度 転勤・異動・定年に関するインターネット調査」報告	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
RIETI Policy Discussion Paper	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共有
	_
1.著者名	4 . 巻
Rehdanz, K, Schroder, C, Narita, D and Okubo, T.	65
2.論文標題	5.発行年
Public Preferences for Alternative Electricity Mixes in Post-Fukushima Japan	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Energy Economics	262-270
相乗込みのDOL / ごごり H ナインデー カト 禁助フン	木芸の左便
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eneco.2017.04.026	査読の有無 有
	T
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Chizuru Shikishima, Kai Hiraishi, Yusuke Takahashi, Shinji Yamagata, Susumu Yamaguchi, & Juko Ando	121
2. 論文標題	5 . 発行年
Genetic and environmental etiology of stability and changes in self-esteem linked to personality: A Japanese twin study	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Personality and Individual Differences	140-146
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1016/j.paid.2017.09.013	有
オープンマクセフ	国際仕事
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1 . 著者名	. 24
	4 . 巻
Sumita, Kazuto, Katsuyoshi Nakazawa and Akihiro Kawase	23
2 . 論文標題	5 . 発行年
Long-term Care Facilities and Elderly Household Mobility in Japan: Empirical Analysis based on	2018年
Micro-Level Survey	
3 . 維誌名	6.最初と最後の頁
Working Paper, Faculty of Economics, Toyo University	1-45
	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Naoi, M., P. Tiwari, Y. Moriizumi, N. Yukutake, N. Hutchson, A. Kovlyakova and J. Rao	12(1)
e AA-JEE	= 7V./= h=
2 . 論文標題	5 . 発行年
Household Mortgage Demand: Role of Mortgage Market Institutions	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Housing Markets and Analysis	110-130
international Southar of housing markets and Adalysis	110-130
相部会かのロノニックリーナー・データー・部ロフン	木芸の左仰
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1108/IJHMA-03-2017-0029	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
I Mata, S. and M. Naoi	4 · 글 15(4)
iwata, J. anu W. Naul	10(7)
2	r 36/二ケ
2 . 論文標題	5 . 発行年
The Asymmetric Housing Wealth Effect on Childbirth	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	1373-1397
Review of Economics of the Household	. 3. 5 . 55.
Review of Economics of the Household	本誌の右無
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
Review of Economics of the Household	査読の有無 有
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8	有
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8	
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8	有
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8 オープンアクセス	有
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有 国際共著 -
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名	有 国際共著 - 4.巻
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有 国際共著 -
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 直井道生・佐藤慶一・田中陽三・松浦広明・永松伸吾	有 国際共著 - 4.巻 335
Review of Economics of the Household  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 直井道生・佐藤慶一・田中陽三・松浦広明・永松伸吾  2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 335 5.発行年
Review of Economics of the Household   掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)   10.1007/s11150-016-9355-8	有 国際共著 - 4.巻 335
Review of Economics of the Household  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 直井道生・佐藤慶一・田中陽三・松浦広明・永松伸吾  2 . 論文標題 南海トラフ巨大地震の被害想定地域における社会移動	有 国際共著 - 4.巻 335 5.発行年 2017年
Review of Economics of the Household   掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)   10.1007/s11150-016-9355-8	有 国際共著 - 4.巻 335 5.発行年
Review of Economics of the Household  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 直井道生・佐藤慶一・田中陽三・松浦広明・永松伸吾  2.論文標題 南海トラフ巨大地震の被害想定地域における社会移動  3.雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 335 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Review of Economics of the Household  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 直井道生・佐藤慶一・田中陽三・松浦広明・永松伸吾  2 . 論文標題 南海トラフ巨大地震の被害想定地域における社会移動	有 国際共著 - 4.巻 335 5.発行年 2017年
Review of Economics of the Household  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 直井道生・佐藤慶一・田中陽三・松浦広明・永松伸吾  2 . 論文標題 南海トラフ巨大地震の被害想定地域における社会移動  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 335 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
Review of Economics of the Household 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 335 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-29
Review of Economics of the Household  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 直井道生・佐藤慶一・田中陽三・松浦広明・永松伸吾  2.論文標題 南海トラフ巨大地震の被害想定地域における社会移動  3.雑誌名 ESRI Discussion Paper	有 国際共著 - 4 . 巻 335 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-29 査読の有無
Review of Economics of the Household  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 335 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-29
Review of Economics of the Household  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 直井道生・佐藤慶一・田中陽三・松浦広明・永松伸吾  2. 論文標題 南海トラフ巨大地震の被害想定地域における社会移動  3. 雑誌名 ESRI Discussion Paper  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	有 国際共著 - 4 . 巻 335 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-29 査読の有無
Review of Economics of the Household  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11150-016-9355-8  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 直井道生・佐藤慶一・田中陽三・松浦広明・永松伸吾  2 . 論文標題 南海トラフ巨大地震の被害想定地域における社会移動  3 . 雑誌名 ESRI Discussion Paper	有 国際共著 - 4 . 巻 335 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-29 査読の有無

4	1 4 <del>**</del>
1 . 著者名 山田篤裕	4. 巻 December 2017 vol.71 (No.2954)
цимп	(,
2.論文標題	5 . 発行年
教育費高騰とコスト病	2017年
2 11117	C 8771 8/4 0 F
3.維誌名	6.最初と最後の頁
週刊社会保障	36-39
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	C Division of the second of th
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Reo Takaku, Shun-ichiro Bessho	121(5)
Red Takaku, Oliuli Telli 10 Bessilo	.2.(0)
2 . 論文標題	5.発行年
Do benefits in kind or refunds affect health service utilization and health outcomes? A natural	
experiment from Japan	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Health Policy	534-542
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u> 査読の有無
10.1016/j.healthpol.2017.02.016	有
70.1010/j.110d111.p011.2211.022.010	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Yusuke Matsuyama, Toru Tsuboya, Shun-ichiro Bessho, Jun Aida, Ken Osaka	244
2.論文標題	F 発行左
Z . 論文标题 Copayment exemption policy and healthcare utilization after the Great East Japan Earthquake	5.発行年 2018年
copayment exemption portey and hearthcare utilization after the oreat cast sapan cartinquake	20104
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Tohoku Journal of Experimental Medicine	163-173
·	
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1620/tjem.244.163	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
田中隆一・別所俊一郎・両角淳良	18A-04
2 . 論文標題	5.発行年
新教育委員会制度がいじめの認知件数に与えた影響について:東京都の区市町村別データを用いた分析	2018年
2	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 財務省財務総合政策研究所ディスカッション・ペーパー	り、
別が自治が元前以来別元のフィースクラン・ハーハー	1-20
担業公立の2017でなりまずで、もしかのフン	査読の有無
掲載論又のDOI(ナンタルオフシェクト識別士)	
掲載論又のDDI(デンタルオフジェクト識別子) なし	無
なし	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	無 国際共著 該当する

4 ****	1 4 24
1 . 著者名	4 . 巻
Yukihiro Nishimura, Kimiko Terai	24
2.論文標題	5.発行年
Strategic Delegation When Public Inputs for a Global Good Are Imperfect Substitutes	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Tax and Public Economics	96-111
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s10797-016-9411-6	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
I. 看自白 Kimiko Terai, Amihai Glazer	4 · 仓 73
2 . 論文標題	5.発行年
Rewarding Successes Discourages Experimentation	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
FinanzArchiv/Public Finance Analysis	361-381
     掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本性の方無
<b>筍取論文のDOT( テンダルオ ノジェグ 下蔵別子)</b> 10.1628/001522117X15006332556852	査読の有無   有
<u>-</u> オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Yoko Ibuka, Jun-ichi Itaya, Naomi Miyazato	-
2.論文標題	5.発行年
An Analysis of Peer Effects on Vaccination Behavior Using a Model of Privately Provided Public Goods	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
CESifo Working Paper	1-42
	│ │ 査読の有無
<sup>気載論又のDOI(テンタルオフシェクト識別士)</sup> なし	宜読の有無   無
<b>オープンアクセス</b>	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
	4 . 巻
北村行伸	146
2.論文標題	5 . 発行年
石橋湛山とウォルター・バジョットの交点	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	6.最初と最後の頁 56-64
3.雑誌名 自由思想	56-64
3.雑誌名 自由思想	
3 . 雑誌名 自由思想 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	56-64 査読の有無

〔学会発表〕 計80件(うち招待講演 20件/うち国際学会 29件)
1.発表者名
山本勲
2.発表標題
行動経済学から新型コロナを考える
3. 字云守石   行動経済学会第14回大会(招待講演)
4.発表年
2020年
1.発表者名
山本勲
2 . 発表標題
健康経営と企業業績との関係~「健康経営度調査」データを用いた検証結果~
3.学会等名
第27回日本行動医学会学術総会(招待講演)
4.発表年
2020年
1.発表者名
2.発表標題
労働経済学からみた新しい働き方の可能性
3.学会等名
第28回日本産業ストレス学会(招待講演)
4 . 発表年   2020年
2020+
1.発表者名
山本勲
The Impact of AI on the Labour Market
The impact of his on the Edward market
3.学会等名
OECD International Conference on AI in Work, Innovation, Productivity and Skills(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2020年
· ·

1 . 発表者名 中村聖・敷島千鶴・安藤寿康
2 . 発表標題 教育達成形成メカニズムの検討 - 行動遺伝学的アプローチを用いて
3 . 学会等名 日本双生児研究学会第35回学術講演会
4.発表年 2021年
1.発表者名 大垣昌夫
2 . 発表標題 大学や病院の保育委託で保育の質を守る方法についてー公共メカニズム , 市場メカニズム , 共同体メカニズムの研究
3 . 学会等名 日本経済学会2020 年度秋季大会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Masao Ogaki
2 . 発表標題 Introducing Virtue Ethics into Normative Economics for Models with Endogenous Preferences
3 . 学会等名 CREDO Economics and CST Workshop(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Sumita, K, Okamoto, S, Kamimura, K, Shiraishi, K, , Komamura, K, Tsukao, A, Kuno, S,
2 . 発表標題 Daily steps and healthcare costs in Japanese communities: Causal inference
3 . 学会等名 日本経済学会
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名
石野卓也・直井道生・瀬古美喜・隅田和人
2. 発表標題
Parental Wealth Transfers and Children's Wealth Accumulation
3 . 学会等名
日本経済学会2020年度春季大会
2020年
20207
1.発表者名
安田昌平・直井道生
2.発表標題
災害リスクに対する主観的認知の更新メカニズムと防災行動に関する分析
3.学会等名
3・チスサロ 第34回応用地域学会研究発表大会
310 TEPOTO-0-90 1 A WI 7070-0-C/CA
4.発表年
2020年
1 . 発表者名 河端瑞貴・直井道生・安田昌平
/
2.発表標題
Impacts of Reducing Earthquake Risk on Residential Land Price in Tokyo
3 . 学会等名
第34回応用地域学会研究発表大会
4.発表年
- 4. 光衣牛 - 2020年
, <del></del> ,
1.発表者名
島津明人・中田光紀・直井道生・稲水信行・黒田祥子・永田智久・梅崎昌裕・荒川豊
2.発表標題
主体的朗働の創生:働くことの意義を考える(メインシンポジウム)
3.学会等名
3.子云寺石 第28回日本産業ストレス学会(招待講演)
4 . 発表年
2020年

1.発表者名
北村行伸
2 . 発表標題 産業連関表から供給・使用表へ
注来是例以がり
3.学会等名 環太平洋産業連関分析学会(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
I . 完衣有右 Kayo Nozaki, Shino Yukawa, and Hideo Akabayashi
2.発表標題
2 . 完衣標題 Gender Differences in Educational Outcomes and the Effect of Family Background: Comparative Perspectives from East Asia
3.学会等名
3 . 子云寺石 International Sociological Association (ISA) - RC28(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
Ryosuke Nakamura and Hideo Akabayashi
2.発表標題
A Comparative Analysis of Children's Time Use and Educational Achievement: Assessing Evidence from China, Japan, and the United States
3.学会等名
International Sociological Association (ISA) - RC28(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
Shun Ikemoto, Hideo Akabayashi
2 . 発表標題
An Evolution of School Absentees and School Grading Policy: An Analysis Using Prefectural Panel Data
3 . 学会等名
Society for Longitudinal and Life Course Studies (SLLS)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
2017

1. 発表報名 Middori Otani, Hideo Akabayashi  2. 発表概要 Asset Transfer from Grandparents and Children's Education: Evidence Through the Qualified Educational Fund Giving Trusts in Japan  3. 学会等名 Society for Longitudinal and Life Course Studies (SLLS) (国際学会)  4. 発表報名 2019年  1. 表表者名 2019年  1. 表表者名 3. 学会等名 Student Loan and the Life course of the Sorrowers: Findings from the JAPS 2nd generation follow up survey  3. 学会等名 World Education Research Association 2019: Focal Meeting in Tokyo (国際学会)  4. 免表程  2. 免表程器 数の単期の対応が子どもの認知的違成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Willennium Cohort Studyデータのベイズ的分析  3. 学会等名 日本教育心理学会 61回路会  4. 免表符 通信表質  2. 発表程器 日本の性宅市場と家計行動  3. 学会等名 在部ワークショップ(招待講演)  4. 発表符 2019年	
Asset Transfer from Grandparents and Children's Education: Evidence Through the Qualified Educational Fund Giving Trusts in Japan  3 . 学会等名 Society for Longitudinal and Life Course Studies (SLLS) (国際学会)  4 . 発表作 2019年  1 . 発表者名 Jie Vang, Hideo Akabayashi, Masayuki Kobayashi, Shinpei Sano  2 . 発表標題 Student Loan and the Life course of the Borrowers: Findings from the JHPS 2nd generation follow up survey  3 . 学会等名 World Education Research Association 2019: Focal Meeting in Tokyo (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 繁樹質男・古野公紀・池本製・赤林英夫  2 . 発表構題 親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Millennium Cohort Studyデータのペイズ的分析  3 . 学会等名 日本教育心理学会 61回総会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 湖古美書  2 . 発表報題 日本の仕宅市場と家計行動  3 . 学会等名 在施ワーフショップ (括待講演)  4 . 発表年	
Society for Longitudinal and Life Course Studies (SLLS) (国際学会)  4.発表年 2019年  1.発表者名 Jie Wang, Hideo Akabayashi, Masayuki Kobayashi, Shinpei Sano  2.発表標題 Student Loan and the Life course of the Borrowers: Findings from the JHPS 2nd generation follow up survey  3.学会等名 World Education Research Association 2019: Focal Weeting in Tokyo (国際学会)  4.発表年 2019年  1.発表者名 繁州資男・古野公紀・池本報・赤林英夫  2.発表標題 親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Willennium Cohort Studyデータのベイズ的分析  3.学会等名 日本教育の理学会 61回総会  4.発表者名 図古本教育の理学会 61回総会  4.発表者名 潜古美質  2.発表機器 日本の住宅市場と家計行動  3.学会等名 佐藤ワークショップ(招待講演)  4.祭表年	Asset Transfer from Grandparents and Children's Education: Evidence Through the Qualified Educational Fund Giving Trusts in
1 . 発表者名 Jie Wang, Hideo Akabayashi, Masayuki Kobayashi, Shinpei Sano  2 . 発表標題 Student Loan and the Life course of the Borrowers: Findings from the JHPS 2nd generation follow up survey  3 . 学会等名 World Education Research Association 2019: Focal Meeting in Tokyo (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 繁桝算男・古野公紀・池本鞍・赤林英夫  2 . 発表標題 親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Millennium Cohort Studyデータのペイズ的分析  3 . 学会等名 日本教育心理学会 61回総会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 潜古美音  2 . 発表標題 日本の住宅市場と家計行動  3 . 学会等名 佐藤ワークショップ (招待講演)  4 . 発表年	
Jie Wang, Hideo Akabayashi, Masayuki Kobayashi, Shinpei Sano  2. 発表標題 Student Loan and the Life course of the Borrowers: Findings from the JHPS 2nd generation follow up survey  3. 学会等名 World Education Research Association 2019: Focal Meeting in Tokyo (国際学会)  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 繁桝算男・古野公紀・池本敏・赤林英夫  2. 発表標題 親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Millennium Cohort Studyデータのペイズ的分析  3. 学会等名 日本教育心理学会 61回総会  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 瀬古美喜  2. 発表標題 日本の住宅市場と繁計行動  3. 学会等名 佐藤ワークショップ (招待講演)  4. 発表年	
Student Loan and the Life course of the Borrowers: Findings from the JHPS 2nd generation follow up survey  3 . 学会等名 World Education Research Association 2019: Focal Meeting in Tokyo (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 繋柄翼男・古野公紀・池本駿・赤林英夫  2 . 発表標題 親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Millennium Cohort Studyデータのペイズ的分析  3 . 学会等名 日本教育心理学会 61回総会  4 . 発表者名 瀬古美喜  2 . 発表者名 瀬古美喜  2 . 発表構題 日本の住宅市場と家計行動  3 . 学会等名 佐藤ワークショップ (招待講演)  4 . 発表年	
World Education Research Association 2019: Focal Meeting in Tokyo (国際学会)  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 繁桝舞男・古野公紀・池本駿・赤林英夫  2. 発表標題 親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Millennium Cohort Studyデータのペイズ的分析  3. 学会等名 日本教育心理学会 61回総会  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 瀬古美喜  2. 発表標題 日本の住宅市場と家計行動  3. 学会等名 佐藤ワークショップ(招待講演)  4. 発表年	
2019年      1. 発表者名     繁桝算男・古野公紀・池本駿・赤林英夫      2. 発表標題     親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Millennium Cohort Studyデータのペイズ的分析      3. 学会等名     日本教育心理学会 61回総会      4. 発表年     2019年      1. 発表者名     瀬古美喜      2. 発表標題     日本の住宅市場と家計行動      3. 学会等名     佐藤ワークショップ(招待講演)      4. 発表年	
繁桝算男・古野公紀・池本駿・赤林英夫         2 . 発表標題 親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Millennium Cohort Studyデータのベイズ的分析         3 . 学会等名 日本教育心理学会 61回総会         4 . 発表年 2019年         1 . 発表者名 瀬古美喜         2 . 発表標題 日本の住宅市場と家計行動         3 . 学会等名 佐藤ワークショップ(招待講演)         4 . 発表年	
親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価 Millennium Cohort Studyデータのベイズ的分析  3 . 学会等名 日本教育心理学会 61回総会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 瀬古美喜 日本の住宅市場と家計行動  3 . 学会等名 佐藤ワークショップ(招待講演)  4 . 発表年	
日本教育心理学会 61回総会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 瀬古美喜 2 . 発表標題 日本の住宅市場と家計行動 3 . 学会等名 佐藤ワークショップ(招待講演) 4 . 発表年	
2019年         1.発表者名 瀬古美喜         2.発表標題 日本の住宅市場と家計行動         3.学会等名 佐藤ワークショップ(招待講演)         4.発表年	
瀬古美喜  2 . 発表標題 日本の住宅市場と家計行動  3 . 学会等名 佐藤ワークショップ(招待講演)  4 . 発表年	
日本の住宅市場と家計行動  3. 学会等名 佐藤ワークショップ(招待講演)  4. 発表年	
佐藤ワークショップ(招待講演) 4 . 発表年	日本の住宅市場と家計行動
	佐藤ワークショップ(招待講演)
	4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 瀬古美喜・新倉博明
2 . 発表標題 東証一部上場企業における女性役員と企業パフォーマンスの関係
3 . 学会等名 第4回 Happiness Meeting ポスターセッション
4 . 発表年
2019年
1 . 発表者名 瀬古美喜・隅田和人・吉田二郎
2.発表標題
The Inheritance Tax and Household Mobility: an Exploration of Empty Nest Problem
3 . 学会等名 日本経済学会 2019年度秋季大会
4.発表年
2019年
1 . 発表者名 新倉博明・瀬古美喜・直井道生
2.発表標題 持ち家取得時の情報収集行動と住宅満足度
3 . 学会等名 第33回応用地域学会 (ARSC)研究発表大会
4.発表年 2019年
4 改丰业权
1 . 発表者名 M.Seko, K.Sumita, J.Yoshida
2 . 発表標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests
3 . 学会等名 Applied Economics Workshop
4.発表年
2019年

1.発表者名 M.Seko, K.Sumita, J.Yoshida
2 . 発表標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests
3.学会等名
55th AREUEA Annual Conference, "Housing and the Life Cycle" (国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 M.Seko, K.Sumita, J.Yoshida
2 . 発表標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests
3 . 学会等名 JAREFE 2020定期大会
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Takero Doi and Hiroaki Kurita
Takero Doi and Hiroaki Kurita 2 . 発表標題
Takero Doi and Hiroaki Kurita  2 . 発表標題 Income Redistribution Effect of Sequential Personal Income Tax Reforms: A Microsimulation Analysis in Japan  3 . 学会等名
Takero Doi and Hiroaki Kurita  2 . 発表標題 Income Redistribution Effect of Sequential Personal Income Tax Reforms: A Microsimulation Analysis in Japan  3 . 学会等名 International Conference on Public Economic Theory, 2019 (国際学会)  4 . 発表年
Takero Doi and Hiroaki Kurita  2 . 発表標題 Income Redistribution Effect of Sequential Personal Income Tax Reforms: A Microsimulation Analysis in Japan  3 . 学会等名 International Conference on Public Economic Theory, 2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Takero Doi and Hiroaki Kurita  2 . 発表標題 Income Redistribution Effect of Sequential Personal Income Tax Reforms: A Microsimulation Analysis in Japan  3 . 学会等名 International Conference on Public Economic Theory, 2019 (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Takero Doi and Hiroaki Kurita

1.発表者名
Takero Doi and Hiroaki Kurita
2 . 発表標題
Income Redistribution Effect of Sequential Personal Income Tax Reforms: A Microsimulation Analysis in Japan
Theome Neuristribution Livest of Sequential Personal Theome Tax Neronias. A witchestinutation Analysis in Sapan
3 . 学会等名
72nd European meeting of the Econometric Society(国際学会)
4. 発表年
2019年
1.発表者名
栗田広暁・土居丈朗
ARIAN TILAN
2. 発表標題
Income Redistribution Effect of Sequential Personal Income Tax Reforms: A Microsimulation Analysis in Japan
3 . 学会等名
日本財政学会
4 . 発表年
2019年
20.0 (
1 . 発表者名
大垣昌夫
2.発表標題
大学や病院の保育委託で保育の質を守る方法について
3.学会等名
行動経済学会第13回大会
1.3 SECTION 1.3 SECTION 1.5 SE
4.発表年
・ . 元以午 - 2010年
2019年
=
1.発表者名
敷島千鶴
2 . 発表標題
「学力と家庭背景」シンポジウム「社会問題に挑む行動遺伝学」
TO THE PARTY OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF
3 . 学会等名
日本パーソナリティ心理学会第28回大会
4.発表年
2019年

1 . 発表者名 石川武・敷島千鶴
ロバル・一族の一体
2.発表標題
二分法的思考傾向とレスポンス・スタイルの関連 複数の採点法を用いた検討
3 . 学会等名 日本パーソナリティ心理学会第28回大会
日本ハーフナッティ心理子会为20回八会 
4.発表年
2019年
1.発表者名
隅田和人
2 . 発表標題 Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests
bequest wortives, filleritance tax, and housing online. A froblem of methoretic impry nests
日本不動産金融工学学会(招待講演)
2020年
1.発表者名         隅田和人
Page 1477
Bequest Motives, Inheritance Tax and Housing Choice: Imprecations for Empty Nest Problem
3.学会等名 日本経済学会
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
隅田和人
2.発表標題 The Inheritance Tax and Household Mobility: An Exploration of Empty Nest Problem
The filler take tak and household mouthly. An Exploration of Empty Nest Floblem
Workshop on Micro-econometric Analysis of Housing Market
4 · 光农中   2019年

1.発表者名
隅田和人
2 . 発表標題
The Inheritance Tax and Household Mobility: An Exploration of Empty Nest Problem
3.学会等名
Asian Real Estate Society(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
隅田和人
MATERIAL STATE OF THE STATE OF
2.発表標題
Bequest Motives, Inheritance Tax, and Housing Choice: A Problem of Inefficient Empty Nests
- WARE
3 . 学会等名
応用経済学ワークショップ
4 . 発表年
2019年
20.0
1.発表者名
隅田和人
2 . 発表標題
Bequest Motives, Inheritance Tax and Housing Choice: Imprecations for Empty Nest Problem
3 . 学会等名
Sokolov Real Estate Seminar Series(国際学会)
4.発表年
2019年
2010—
4 77 7 4 6
1. 発表者名
寺井公子
2.発表標題
2 . 発表標題 Effects of the Elderly Population and of Political Factors in the US States
Effects of the Elderly Population and of Political Factors in the US States
Effects of the Elderly Population and of Political Factors in the US States  3 . 学会等名
Effects of the Elderly Population and of Political Factors in the US States
Effects of the Elderly Population and of Political Factors in the US States  3 . 学会等名 The 16th Irvine-Japan Conference on Public Policy(国際学会)
Effects of the Elderly Population and of Political Factors in the US States  3 . 学会等名 The 16th Irvine-Japan Conference on Public Policy(国際学会)  4 . 発表年
Effects of the Elderly Population and of Political Factors in the US States  3 . 学会等名 The 16th Irvine-Japan Conference on Public Policy(国際学会)
Effects of the Elderly Population and of Political Factors in the US States  3 . 学会等名 The 16th Irvine-Japan Conference on Public Policy(国際学会)  4 . 発表年
Effects of the Elderly Population and of Political Factors in the US States  3 . 学会等名 The 16th Irvine-Japan Conference on Public Policy(国際学会)  4 . 発表年

1.発表者名
山本勲
N. P. LEFET
2.発表標題
働き方改革における長時間労働是正
3.学会等名
J. 子会寺台 JILPT・EHESS/FFJ共催ワークショップ(招待講演)(国際学会)
びに、 ににの/TO大正プープグログラ (国内時代) (国际子女)
4.発表年
2019年
2010-
1.発表者名
山本勲
山华然
2.発表標題
AIを活用した補完的イノベーションとしての働き方改革
3.学会等名
RIETI政策シンポジウム:日本の雇用システムの再構築 生産性向上を目指したAI時代の働き方・人事改革とは(招待講演)
4.発表年
2019年
1.発表者名
山本勲
N. de 1970
2 . 発表標題
AIなどの技術と働き方・ウェルビーイング
3.学会等名
第55回ESRI-経済政策フォーラム(招待講演)
A ※主年
4.発表年
2018年
1
1.発表者名
Hideo Akabayashi, Shiho Yukawa (Presenter), Kayo Nozaki (Presenter)
2.発表標題
Gender differences in educational investment and outcomes in Japan: Evidence from the Japan Child Panel Survey
Conservation of the Career of the Career and Career of the Capair. Evidence from the Capair of the Career out ver
3.学会等名
Western Economic Association International, 15th International Conference (国際学会)
Control of the contro
4.発表年
2019年

1. 発表者名
Ryosuke Nakamura (Presenter), Jun Yamashita (Presenter), Hideo Akabayashi
2.発表標題
Children's Time Use and Educational Achievement: Assessing Evidence from the Japan Child Panel Survey
official 3 fills use and Educational Administration. Assessing Evidence from the dapan office during
3.学会等名
Western Economic Association International, 15th International Conference(国際学会)
4.発表年
2019年
1. 発表者名
赤林英夫
2
2.発表標題
子どもをめぐる生活・学びからの社会的排除:家庭と教育投資の関連を巡って
3.学会等名
う・チスサロ 行動・健康・社会科学の融合による社会的排除の科学的制御:第1回セミナー
11割・健康・社会付予の職員による社会の社会の対象の行子を対しています。
2018年
2010-
1.発表者名
赤林英夫
2.112.00
2.発表標題
行政の保有する教育データの利活用:EBPM推進に際しての教育行政上の課題
3.学会等名
3.学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演)
3. 学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4. 発表年
3.学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演)
3. 学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4. 発表年 2018年
3. 学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa
3 . 学会等名 第 1 回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa
3. 学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa
3 . 学会等名 第 1 回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa
3 . 学会等名 第 1 回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa
3 . 学会等名 第 1 回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa
3. 学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4. 発表年 2018年  1. 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa  2. 発表標題 Gender differences in educational outcomes and investment in Japan  3. 学会等名
3. 学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐブラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4. 発表年 2018年 1. 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa 2. 発表標題 Gender differences in educational outcomes and investment in Japan
3. 学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐプラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4. 発表年 2018年  1. 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa  2. 発表標題 Gender differences in educational outcomes and investment in Japan  3. 学会等名
3 . 学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐブラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa 2 . 発表標題 Gender differences in educational outcomes and investment in Japan 3 . 学会等名 Mini-Conference on Equality among Children and Families: Evidence from China, Korea, Japan, and the World 4 . 発表年
3 . 学会等名 第 1 回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐブラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa 2 . 発表標題 Gender differences in educational outcomes and investment in Japan
3 . 学会等名 第1回教育政策研究会フォーラム「研究×政策×実践をつなぐブラットホームづくりに向けて」(招待講演) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Hideo Akabayashi, Kayo Nozaki, and Shiho Yukawa 2 . 発表標題 Gender differences in educational outcomes and investment in Japan 3 . 学会等名 Mini-Conference on Equality among Children and Families: Evidence from China, Korea, Japan, and the World 4 . 発表年

1.発表者名 Jun Yamashita, Ryosuke Nakamura, Hideo Akabayashi
2. 発表標題 Children's time use and educational outcomes in Japan
3.学会等名 Mini-Conference on Equality among Children and Families: Evidence from China, Korea, Japan, and the World
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 瀬古美喜・新倉博明
2 . 発表標題 取締役会における女性の活躍が企業に与える影響
3 . 学会等名 武蔵野大学 第3回Happiness Meeting ポスターセッション
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 H. Niikura, M. Seko
2. 発表標題 The Effect of Inside and Outside Female Directors on Firm Performance - Comparison of The First Section, Second Section, Mothers, and JASDAQ in the Tokyo Stock Exchange Market -
3.学会等名 The 17th International Conference of the Japan Economic Policy Association (国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 隅田和人・瀬古美喜・吉田二郎
2 . 発表標題 家計の転居・住宅改修行動の実証分析:遺産動機をめぐって

3 . 学会等名

4 . 発表年 2018年

応用地域学会2018年研究発表大会

1.発表者名
隅田和人・瀬古美喜・吉田二郎
2.発表標題
家計の転居・住宅改修行動の実証分析:遺産動機をめぐって
3.学会等名
土地総合研究所(招待講演)
4.発表年
2018年
4
1.発表者名 M.Seko, K,Sumita, J.Yoshida
m. sono, in, sumita, s. resinta
2.発表標題
The Inheritance Tax and Household Mobility: An Exploration of Empty Nest Problem
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
3.学会等名
Western Economic Association International (国際学会)
4.発表年
2019年
1.発表者名
T. Ishino, M.Naoi, M. Seko, K. Sumita
2 . 発表標題
Parental Wealth Transfers and Children's Wealth Accumulation
3.学会等名
Western Economic Association International (国際学会)
4.発表年
2019年
1. 発表者名
黒田祥子
2 . 発表標題
Impact of the Work-Style Reform on Overtime Hours and Self-Training Time: Evidence Using Japanese Time Use Data
2
3.学会等名
International Association of Time Use Research (国際学会)
4.発表年
2018年

1. 発表者名
<u> </u>
2. 発表標題
「行動遺伝学から見る認知的・非認知的能力の発達」
3.学会等名
日本発達心理学会第30回大会
4.発表年 2019年
2010—
1.発表者名
Naoi, M.
Natural Hazard Information and Migration across Cities: Evidence from the Nankai Trough Earthquake
기 : 구도국업 International Conference on Sustainable Development 2018(国際学会)
The chartenary contention on castamaste severepilion 2010 (国际于立)
4.発表年
2018年
1.発表者名         直井道生
2.発表標題
東日本大震災前後における建物倒壊危険度が住宅市場に与えた影響の検証
3 . 学会等名
応用地域学会2018年研究発表大会
4 . 発表年     2018年
2010—
1.発表者名
直井道生
Post-Disaster Assistance, Local Government Spending, and the Samaritan's Dilemma
3 . 字云寺名   応用地域学会2018年研究発表大会(招待講演)
ℊℴℴℴℴℊ <del>℮</del> ℴℴℴℴ℮ℴℴ℮ℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴℴ
4.発表年
2018年

1.発表者名 山田篤裕
2.発表標題 所得保障政策上の「賃金」と給付水準
3.学会等名 社会政策学会 第136回(2018年度春季)大会(招待講演)
4.発表年 2018年
1.発表者名 別所俊一郎
2 . 発表標題 区立小学校での補習の効果: 足立区「小学校基礎学習教室」のケース
3.学会等名 日本経済学会秋季大会
4.発表年 2018年
1.発表者名 井深陽子・板谷淳一・宮里尚三
2 . 発表標題 An Analysis of Peer Effects on Vaccination Behavior Using a Model of Privately Provided Public Goods
3.学会等名 日本経済学会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 北村行伸
2 . 発表標題 世代間資産移転と相続税
3.学会等名生活経済学会関東部会
4.発表年 2018年

1.発表者名
Isamu Yamamoto
o TV-LEDE
2 . 発表標題
Does mental health matter for firm performance? Evidence from longitudinal Japanese firm data
3.学会等名
Japanese-Finnish seminar 2017
4 . 発表年
2017年
20114
1.発表者名
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda
2、艾丰
2 . 発表標題
Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?
3. 学会等名
International Association for Time Use Research(国際学会)
4 . 発表年
2017年
200. [
1
1.発表者名
1 . 発表者名 Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T.Ishino, M.Seko, K.Sumita, M.Naoi
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T.Ishino, M.Seko, K.Sumita, M.Naoi
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T.Ishino, M.Seko, K.Sumita, M.Naoi
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T.Ishino, M.Seko, K.Sumita, M.Naoi
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T.Ishino, M.Seko, K.Sumita, M.Naoi
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T.Ishino, M.Seko, K.Sumita, M.Naoi  2 . 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heir's Tenure Choice, Consumption and Savings in Japan
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T.Ishino, M.Seko, K.Sumita, M.Naoi  2 . 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heir's Tenure Choice, Consumption and Savings in Japan  3 . 学会等名
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T.Ishino, M.Seko, K.Sumita, M.Naoi  2 . 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heir's Tenure Choice, Consumption and Savings in Japan
Isamu Yamamoto and Sachiko Kuroda  2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T.Ishino, M.Seko, K.Sumita, M.Naoi  2 . 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heir's Tenure Choice, Consumption and Savings in Japan  3 . 学会等名
2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T. Ishino, M. Seko, K. Sumita, M. Naoi  2 . 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heir's Tenure Choice, Consumption and Savings in Japan  3 . 学会等名 The 22nd AsRES Annual Conference 2017 (2017年アジア不動産学会) (招待講演) (国際学会)
2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T. Ishino, M. Seko, K. Sumita, M. Naoi  2 . 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heir's Tenure Choice, Consumption and Savings in Japan  3 . 学会等名 The 22nd AsRES Annual Conference 2017 (2017年アジア不動産学会) (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年
2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T. Ishino, M. Seko, K. Sumita, M. Naoi  2 . 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heir's Tenure Choice, Consumption and Savings in Japan  3 . 学会等名 The 22nd AsRES Annual Conference 2017 (2017年アジア不動産学会) (招待講演) (国際学会)
2 . 発表標題 Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from Panel Data Analysis of Japanese Firms  3 . 学会等名 Western Economic Association International (国際学会)  4 . 発表年 2018年  1 . 発表者名 T. Ishino, M. Seko, K. Sumita, M. Naoi  2 . 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heir's Tenure Choice, Consumption and Savings in Japan  3 . 学会等名 The 22nd AsRES Annual Conference 2017 (2017年アジア不動産学会) (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年

1.発表者名 石野卓也・瀬古美喜・隅田和人・直井道生
2 . 発表標題 The Effect of Housing Inheritance on Heirs' Tenure Choice, and Household Wealth Accumulation in Japan
3 . 学会等名 2017年度 ARSC研究発表大会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 新倉博明・瀬古美喜
2 . 発表標題 女性社内取締役と女性社外取締役が企業の業績に与える効果:東証一部、二部、マザーズ、ジャスダックの比較
3 . 学会等名 一橋大学商学研究科ファイナンス研究センタ - 2017年度 第19回金融研究会 (招待講演)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 隅田和人・瀬古美喜・吉田二郎
2 . 発表標題 家計の転居・住宅改修行動の実証分析:遺産動機をめぐって
3 . 学会等名 『住宅市場における世代間・地域間ミスマッチの解明 パネルデータによる経済分析』ワークショップ
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Masao Ogaki
2 . 発表標題 Introducing Virtue Ethics into Normative Economics for Models with Endogenous Preferences
3 . 学会等名 Department of Policital and Economic Studies Seminar, University of Helsinki
4 . 発表年 2017年

1.発表者名
黒田祥子
2. 艾丰福昭
2 . 発表標題 Why Do Poorle Overwark at the Dick of Impairing Mental Health?
Why Do People Overwork at the Risk of Impairing Mental Health?
3 . 学会等名
The 39th International Association of Time-use Research(国際学会)
4.発表年
2017年
1 . 発表者名
黒田祥子
2.発表標題
Does Experience of Wage Cuts Enhance Firm-level Wage Flexibility? Evidence from panel data analysis of Japanese firms
, and analysis of superiore filling
3 . 学会等名
The 14th Western Economic Association International Conference(国際学会)
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
り ・ 光秋自日   敷島千鶴
が 日本
2 . 発表標題
Self-esteemの安定と変化に寄与する遺伝と環境 パーソナリティとの関連から(ワークショップ「Self-esteemとは何かを考える」)
3.学会等名
日本社会心理学会第57回大会 広島大学
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
<b>隅田和人</b>
2 . 発表標題
住宅価格変動の計量経済分析:住宅ローン減税の住宅価格への影響
3.学会等名
(一社)住宅生産団体連合会「住宅政策勉強会」 於住宅生産団体連合会(招待講演)
( in a comment when the convention of the comment with the comment of the comment
4.発表年
2018年

1.発表者名
隅田和人
2
2 . 発表標題
Long-term Care Facilities and Elderly Household Mobility in Japan: Empirical Analysis of the Micro-Level Survey"
3.学会等名
日本経済学会秋季大会(青山学院大学)
4 . 発表年
2017年
2017+
1.発表者名
隅田和人
2.発表標題
住宅価格変動の計量経済分析:住宅ローン減税の住宅価格への影響
3.学会等名
(一社)住宅生産団体連合会「住宅政策勉強会」 於住宅生産団体連合会(招待講演)
4.発表年
2018年
1.発表者名
隅田和人
FIGHT 11/
2.発表標題
Long-term Care Facilities and Elderly Household Mobility in Japan: Empirical Analysis of the Micro-Level Survey
3 . 学会等名
Asian Real Estate Society at Lin Hotel in Taichung, Taiwan (国際学会)
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
4.発表年
2017年
1.発表者名
Yukinobu Kitamura
2 . 発表標題
Income Tax Reforms and Intra-Generational Redistribution: Evidence from Japan
3.学会等名
NBER East Asian Seminar on Economics(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2017年

〔図	書,	ì <u></u>	1321	4

〔図書〕 計32件	
1 . 著者名 宇井貴志・加納隆・土居潤子・西山慶彦編・山本勲・佐藤主光・チャールズ、ユウジ、ホリオカ・堀一 三・大竹文雄・松谷恵・渡辺安虎・成田悠輔・内藤貴仁	4 . 発行年 2020年
2.出版社 東洋経済新報社	5 . 総ページ数 149
3 . 書名 現代経済学の潮流2020	
1.著者名 福田慎一編・山本勲・田中賢治・宮川努・石川貴幸・鍋山徹・戸村肇・田中茉莉子・三平剛	4 . 発行年 2020年
2.出版社 東京大学出版会	5.総ページ数 296
3.書名 技術進歩と日本経済	
1.著者名	4.発行年
安藤寿康監・敷島千鶴・平石界編	2021年
2.出版社 創元社	5.総ページ数 189
3.書名 ふたご研究シリーズ 第1巻 認知能力と学習	
1.著者名 経済セミナー編集部編・大垣昌夫・北村行伸・他24名	4 . 発行年 2020年
2.出版社 日本評論社	5.総ページ数 177
3.書名 新版 進化する経済学の実証分析	
	_

1 . 著者名 小林慶一郎・森川正之編著・黒田祥子・鶴光太郎・土居丈朗・他21名	4 . 発行年 2020年
2.出版社 日経BP	5 . 総ページ数 384
3.書名 コロナ危機の経済学	
	<b>_</b>
1.著者名 鶴光太郎	4 . 発行年 2021年
2.出版社日本評論社	5 . 総ページ数 198
3.書名 AIの経済学ー「予測機能」をどう使いこなすか	
1 . 著者名   大久保敏弘・辻琢也・中川雅之・他3名 	4 . 発行年 2020年
2.出版社 NIRA総研	5 . 総ページ数 <sup>57</sup>
3.書名 NIRA研究報告書「全国市区町村長の政策意識とリーダーシップのあり方」に関するアンケート調査	
1 . 著者名   隅田和人・ 岡本基・ 岩澤政宗・ 金燕春・ 水村陽一・ 吉田崇紘 	4 . 発行年 2020年
2.出版社 オーム社	5.総ページ数 270
3.書名 ExcelとRではじめる やさしい経済データ分析入門	
	Л

1 . 著者名 津谷典子・菅桂太・四方理人・吉田千鶴編著・直井道生・他7名	4 . 発行年 2020年
2.出版社 慶應義塾大学出版会	5.総ページ数 <sup>384</sup>
3.書名 人口変動と家族の実証分析	
1 . 著者名 経済セミナー編集部編・北村行伸・大垣昌夫・他24名	4 . 発行年 2020年
2. 出版社 日本評論社	5.総ページ数 184
3.書名 新版 進化する経済学の実証分析	
1 . 著者名	4.発行年
山本勲編著	2019年
2.出版社 勁草書房	5.総ページ数 <sup>347</sup>
3.書名 人工知能と経済	
1 . 著者名 日本経済学会編・山本勲	4 . 発行年 2020年
2.出版社 東洋経済新報社	5.総ページ数-
3.書名 現代経済学の潮流:働き方改革の経済分析:企業パネルデータと労働者・企業マッチデータを用いた検証	

. ***	1 4 3V/- F
1 . 著者名	4 . 発行年
Miki Seko	2019年
2.出版社	5.総ページ数
Z . 面版紅   Springer Nature Singapore Pte Ltd.	5 . 総ペーシ数 290
opringer mature singapore rie Liu.	250
3 . 書名	
Housing Markets and Household Behavior in Japan	
	<u> </u>
1. 著者名	4 . 発行年
経済セミナー編集部編・瀬古美喜・黒田祥子・井深陽子・阿部彩・亀坂安紀子	2019年
2.出版社	5.総ページ数
日本評論社	200
3 . 書名	
経済セミナー増刊:本当に伝えたい経済学の魅力	
	_
4	1 25/-7-
1.著者名	4 . 発行年
鶴光太郎編・山本勲・黒田祥子・佐野晋平	2019年
2.出版社	5.総ページ数
2. 出版任   日本評論社	5 . 総ペーシ数 372
	512
3 . 書名	
- 3 - 音句 - 雇用システムの再構築に向けて-日本の働き方をいかに変えるか	
(下こ) とく もくこうはくにごこく エイク型にこれてこうに入れるこ	
	_
1 . 著者名	4 . 発行年
矢野誠編・鶴光太郎	2020年
	·
2 . 出版社	5.総ページ数
東京大学出版会	260
3 . 書名	
第4次産業革命と日本経済:新たなテクノロジーは働き方をいかに変えるか AI時代に向けた展望	
	_

1.著者名	4 . 発行年
赤林英夫,日本教育社会学会(編)	2018年
CONSTRUCTION DESCRIPTION	
	- 442 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
2.出版社	5.総ページ数
丸善出版	883
3.書名	
教育社会学事典	
	ı
1 茶本々	4
1 . 著者名	4 . 発行年
瀬古美喜,不動産政策研究会(編)	2018年
2. 出版社	5.総ページ数
東洋経済新報社	246
木/十院上/月前  刊作上	270
3.書名	
不動産政策研究 各論N 国際不動産政策 (第2部 2-3「中国、日本、スウェーデンにおける住宅市場の機	
能の比較」分担執筆)	
1007 POTA 3 73 - 79 - 7	
1.著者名	4 . 発行年
1.著者名 M. Seko	
1.著者名 M. Seko	4 . 発行年 2019年
M. Seko	2019年
M. Seko  2 . 出版社	2019年
M. Seko	2019年
M. Seko  2 . 出版社	2019年
M. Seko  2 . 出版社 Springer	2019年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名	2019年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics	2019年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名	2019年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics	2019年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics	2019年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics	2019年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics	2019年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19	2019年 5.総ページ数 -
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19	2019年 5.総ページ数 -
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)  2 . 出版社 遠見書房	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)  2 . 出版社 遠見書房	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)  2 . 出版社 遠見書房	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)  2 . 出版社 遠見書房	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)  2 . 出版社 遠見書房	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)  2 . 出版社 遠見書房	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年
M. Seko  2 . 出版社 Springer  3 . 書名 "Housing Markets and Household Behavior in Japan", Advances in Japanese Business and Economics 19  1 . 著者名 敷島千鶴他,繁桝算男(著,監修,編集)  2 . 出版社 遠見書房	2019年 5.総ページ数 - 4.発行年 2018年

1 . 著者名 直井道生他,不動産政策研究会(編) 2018 2 . 出版社 東洋経済新報社 296	
大/十莊/月初刊化	ページ数
3.書名 不動産政策研究 各論II 不動産経済分析(第3章「不動産担保制度と住宅市場:最近の研究動向とわが国への示唆」分担執筆)	
1.著者名 国友直人・山本拓(編) 国友直人,柳川堯,椿広計,鈴木督久,山口景子,佐和隆光,竹村彰通,中西 寛子,青山和裕,下川敏雄,山本拓,深尾京司・池内健太,多田洋介,阿向泰二郎,川崎茂,美添泰人, 北村行伸	
2 . 出版社 東京大学出版会 5 . 総 304	ページ数
3.書名 統計と日本社会 データサイエンス時代の展開	
1.著者名       4.発         樋口美雄・石井加代子・佐藤一磨       2018	
2 . 出版社	ページ数
3 . 書名 格差社会と労働市場 - 貧困の固定化をどう回避するか	
1.著者名       4.発         阿部正浩・山本勲       2018	
慶應義塾大学出版会 280	ページ数
3.書名 多様化する日本人の働き方 非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る	

1 英老夕	4 ※行生
1 . 著者名 駒村康平(三浦まり編)	4 . 発行年 2018年
同門11/3尺十 ( 二/用み リ 網 <i>)</i> 	20104
2 . 出版社	5 . 総ページ数
岩波書店	298
3 . 書名	
社会への投資(「長寿社会における基盤整備としての人的資本政策」)	
	_
1.著者名	4.発行年
瀬古美喜	2017年
2.出版社	5.総ページ数
東洋経済新報社	75
3 . 書名	
3 . 書名     既存住宅市場の活性化(共著 土地総合研究所編)	
以けに七川场の位性化(共有 土地総合筑九州綱) 	
1 . 著者名	4.発行年
瀬古美喜	2018年
□ 2.出版社	5.総ページ数
本語	368 368
Peng   1   M   M   M   U   Jule	
3 . 書名	
経済学者が贈る未来への羅針盤(共著 経済セミナー増刊所収)	
	_
1.著者名	4.発行年
Masao Ogaki and Saori Tanaka	2017年
	'
	- 40 0 > 841
2.出版社	5.総ページ数
Springer	211
3.書名	
3 . 盲石 Behavioral Economics: Toward a New Economics by Interation with Traditional Economics	
Denavioral Committee. Toward a new Committee by Hiteration with Hauttional Committee	

1.著者名	4 . 発行年
黒田祥子・山本勲	2017年
2 . 出版社	5 . 総ページ数
日本経済新聞出版社	272
3.書名	
やさしい行動経済学(分担執筆。担当:第11章:「メンタルヘルスをどう守る」)	
	!
1. 著者名	4.発行年
山本勲・黒田祥子	2017年
2. 出版社	5 . 総ページ数
	336
反心 找主八丁叫队公	
~・日   1   人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか(分担執筆。担当:第5章:「給与の下方硬直性がもたらす上方	
硬直性」)	
WELLI /	
1.著者名	4.発行年
1.著者名	4.発行年 2017年
1.著者名 黒田祥子・山本勲	4.発行年 2017年
黒田祥子・山本勲	2017年
黒田祥子・山本勲 2.出版社	2017年 5 . 総ページ数
黒田祥子・山本勲	2017年
黒田祥子・山本勲 2.出版社	2017年 5 . 総ページ数
黒田祥子・山本勲  2.出版社 ナカニシヤ出版	2017年 5 . 総ページ数
<ul><li>黒田祥子・山本勲</li><li>2.出版社 ナカニシヤ出版</li><li>3.書名</li></ul>	2017年 5 . 総ページ数
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2. 出版社         ナカニシヤ出版</li> <li>3. 書名         産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘ</li> </ul>	2017年 5 . 総ページ数
<ul><li>黒田祥子・山本勲</li><li>2.出版社 ナカニシヤ出版</li><li>3.書名</li></ul>	2017年 5 . 総ページ数
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2. 出版社         ナカニシヤ出版</li> <li>3. 書名         産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘ</li> </ul>	2017年 5 . 総ページ数
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2. 出版社         ナカニシヤ出版</li> <li>3. 書名         産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘ</li> </ul>	2017年 5 . 総ページ数
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2. 出版社         ナカニシヤ出版</li> <li>3. 書名         産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘ</li> </ul>	2017年 5 . 総ページ数
黒田祥子・山本勲  2 . 出版社 ナカニシヤ出版  3 . 書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)	2017年 5.総ページ数 <sup>254</sup>
黒田祥子・山本勲  2. 出版社 ナカニシヤ出版  3. 書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)	2017年 5 . 総ページ数 <sup>254</sup> 4 . 発行年
黒田祥子・山本勲  2 . 出版社 ナカニシヤ出版  3 . 書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)	2017年 5.総ページ数 <sup>254</sup>
黒田祥子・山本勲  2. 出版社 ナカニシヤ出版  3. 書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)	2017年 5 . 総ページ数 <sup>254</sup> 4 . 発行年
黒田祥子・山本勲  2. 出版社 ナカニシヤ出版  3. 書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)	2017年 5 . 総ページ数 <sup>254</sup> 4 . 発行年
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2.出版社         ナカニシヤ出版</li> <li>3.書名         産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)</li> <li>1.著者名         山田篤裕</li> </ul>	2017年 5.総ページ数 <sup>254</sup> 4.発行年 <sup>2018</sup> 年
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2. 出版社         ナカニシヤ出版</li> <li>3.書名         産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)</li> <li>1.著者名         山田篤裕</li> <li>2. 出版社</li> </ul>	2017年 5.総ページ数 254  4.発行年 2018年
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2.出版社         ナカニシヤ出版</li> <li>3.書名         産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)</li> <li>1.著者名         山田篤裕</li> </ul>	2017年 5.総ページ数 <sup>254</sup> 4.発行年 <sup>2018</sup> 年
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2. 出版社         ナカニシヤ出版</li> <li>3.書名         産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)</li> <li>1.著者名         山田篤裕</li> <li>2. 出版社</li> </ul>	2017年 5.総ページ数 254  4.発行年 2018年
黒田祥子・山本勲  2 . 出版社 ナカニシヤ出版  3 . 書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)  1 . 著者名 山田篤裕  2 . 出版社 ミネルヴァ書房	2017年 5.総ページ数 254  4.発行年 2018年
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2. 出版社 ナカニシヤ出版</li> <li>3.書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)</li> <li>1.著者名 山田篤裕</li> <li>2. 出版社 ミネルヴァ書房</li> <li>3.書名</li> </ul>	2017年 5.総ページ数 254  4.発行年 2018年
黒田祥子・山本勲  2 . 出版社 ナカニシヤ出版  3 . 書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)  1 . 著者名 山田篤裕  2 . 出版社 ミネルヴァ書房	2017年 5.総ページ数 254  4.発行年 2018年
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2. 出版社 ナカニシヤ出版</li> <li>3.書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)</li> <li>1.著者名 山田篤裕</li> <li>2. 出版社 ミネルヴァ書房</li> <li>3.書名</li> </ul>	2017年 5.総ページ数 254  4.発行年 2018年
<ul> <li>黒田祥子・山本勲</li> <li>2. 出版社 ナカニシヤ出版</li> <li>3.書名 産業保健心理学(分担執筆。担当:第13章:「職場のメンタルヘルスのアウトリーチ:経営とメンタルヘルス」)</li> <li>1.著者名 山田篤裕</li> <li>2. 出版社 ミネルヴァ書房</li> <li>3.書名</li> </ul>	2017年 5.総ページ数 254  4.発行年 2018年

## 〔産業財産権〕

## 〔その他〕

( ( ( ) ( )	
パネルデータ設計・解析センターホームページ https://www.pdrc.keio.ac.jp/	
パネルデータ設計・解析センターホームページ	
https://www.pdrc.keio.ac.jp/	

6	,研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	山本 勲	慶應義塾大学・商学部(三田)・教授	
研究分担者	(Yamamoto Isamu)		
	(20453532)	(32612)	
	敷島 千鶴	帝京大学・文学部・教授	
研究分担者	(Shikishima Chizuru)		
	(00572116)	(32643)	
	駒村 康平	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
研究分担者	(Komamura Kouhei)		
	(50296282)	(32612)	
	瀬古 美喜	武蔵野大学・経済学部・教授	
研究分担者	(Seko Miki)		
	(60120490)	(32680)	
	土居 丈朗	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
研究分担者	(Doi Takero)		
	(60302783)	(32612)	

6.研究組織(つづき)

6	. 研究組織(つづき)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	大垣 昌夫	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
研究分担者	(Ogaki Masao)		
	(90566879)	(32612)	
	McKenzie Colin	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
研究分担者	(Mckenzie Colin)		
	(10220980)	(32612)	
	黒田 祥子	早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授	
研究分担者	(Kuroda Sachiko)		
	(50447588)	(32689)	
	鶴 光太郎	慶應義塾大学・商学研究科(三田)・教授	
研究分担者	(Tsuru Kotaro)		
	(80371178)	(32612)	
	大久保 敏弘	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
研究分担者	(Okubo Toshihiro)		
	(80510255)	(32612)	
	隅田 和人	東洋大学・経済学部・教授	
研究分担者	(Sumita Kazuto)		
	(10350745)	(32663)	
研究分担者	直井 道生 (Naoi Michio)	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
	(70365477)	(32612)	
	山田 篤裕	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
研究分担者	(Yamada Atsuhiro)		
	(10348857)	(32612)	
Щ	(100-0001)	(0-0)	

6.研究組織(つづき)

6	. 研究組織(つづき)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	別所 俊一郎	東京大学・大学院経済学研究科(経済学部)・准教授	
研究分担者	(Bessho Shun-ichiro)		
	(90436741)	(12601)	
	寺井 公子	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
研究分担者	(Terai Kimiko)		
	(80350213)	(32612)	
-	井深 陽子	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
研究分担者	(Ibuka Yoko)		
	(20612279)	(32612)	
	北村 行伸	立正大学・データサイエンス学部・教授	
研究分担者	(Kitamura Yukinobu)		
	(70313442)	(32687)	
	赤林 英夫		削除:2020年12月4日
研究分担者	(Akabayashi Hideo)		
	(90296731)	(32612)	

## 7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計21件

(日)が()()()()	
国際研究集会	開催年
Technological Progress and Inequalities of Time allocation and Well-being	2020年~2020年
国際研究集会	開催年
Technological Progress and Inequalities of Time allocation and Well-being	2019年~2019年
国際研究集会	開催年
Mini-Conference on Equality among Children and Families: Evidence from China,	2018年~2018年
Korea, Japan, and the World	
国際研究集会	開催年
The causes and driving forces of increasing inequalities in OECD countries	2018年~2018年
国際研究集会	開催年
The economic and social consequences of inequality	2018年~2018年

国際研究集会	開催年
Aging Unequally? The First Look at Wealth Inequality in India	2018年 ~ 2018年
国際研究集会	開催年
WIC Participation and Relative Quality of Household Food Purchases	2018年 ~ 2018年
国際研究集会	開催年
「幼児期教育の経済学」慶應義塾大学経済研究所附属 こどもの機会均等研究センター特別 講義	2018年 ~ 2018年
国際研究集会	開催年
Mini-conference on issues in the early childhood education research	2018年 ~ 2018年
国際研究集会	開催年
国際学際交流シンポジウム「フィンランドに学ぶ働き方改革 ~ 持続可能な働き方と健康・幸福~」	2018年 ~ 2018年
国際研究集会	開催年
Depressivity over the Life Course (Prof. Randy Olsen)	2018年 ~ 2018年
国際研究集会	開催年
Who Starts Ahead and Who Moves Ahead? Achievement, Social Adjustment and their Production in Children (Prof. Randy Olsen)	2018年 ~ 2018年
国際研究集会	開催年
ニューヨーク市立大学 マイルズ・コラック教授 特別講義 不平等の世代間連鎖	2018年 ~ 2018年
国際研究集会	開催年
Mini-Conference on Equality among Children and Families: Evidence from China, Japan, and the World	2017年~2017年
国際研究集会	開催年
Harmonized Cognitive Aging Study Workshop	2017年~2017年
国際研究集会	】 】開催年
Special Lecture at IES, Graduate Students' Workshop	2017年~2017年
   国際研究集会	開催年
Conference on Retirment, Labor Market, and Health	2017年~2017年
   国際研究集会	   開催年
Conference: Development of Empirical Research Using Panel Data	2017年~2017年
国際研究集会	   開催年
Special Lecture: Too Many Children Left Behind: The U.S. Achievement Gap in Comparative Perspective	2017年 ~ 2017年
国際研究集会	開催年
Workshop on empirical policy research in family and education	2017年~2017年
   国際研究集会	】 】開催年
先進国における所得の動態: OECDによる格差分析の最前線	2017年~2017年

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------